



津市一身田町2843  
高田中・高等学校内  
樹心同窓会事務局  
電話 059-232-2442



ご挨拶  
同窓会会長  
佐脇 功

皆様には、お変わりなくご清祥のことと存じお喜び申し上げます。各地各界で多くの同窓会会員が活躍され社会に貢献されていることは誠に



ご挨拶  
学苑長  
高臣 文祥

同窓の皆様にはご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

学苑におきましては、学生・生徒たちは元気に学業やスポーツに取り組んでおり、立派な成果を挙げてくれています。お陰様で今年も中学・高校・短大ともに順調な募集が出来ます。四月当初には多くの新入生を迎え新学期がスタートしました。これも偏に多くの同窓の皆さんの日頃のご支援があったればこそと感謝

喜ばしいことです。

平素から同窓会の運営並びに母校の発展にご理解ご支援を賜り深く感謝し厚くお礼申し上げます。

母校の近況は学苑長先生、諸先生から案内されています。施設設備の整備充実が著しく、部活動、進路指導など教育成果は目覚ましく、母校は文武両道で発展を続けています。教職員の皆様に敬意を表する次第で

致しております。詳しくは学長・校長からご報告致します。

我が国の教育をとりまく環境は、「ゆとり教育」から「確かな学力」への転換、高大接続に伴う大学入試改革など、現在大きな変革の局面にあります。教育現場で直面しているのが、一つには英語教育、もう一つはICT教育であります。これらの課題に対する本学苑の取り組みの一端を紹介させていただきます。

英語教育におきましては、これまでの読み書き中心の教育から、「読む、書く、聞く、話す」という四技能の修得が必須とされます。高田中学・高校におきましても生徒の英語コミュニケーション力の向上をはかる

あります。短期大学並びに高等学校を卒業され高田学苑樹心同窓会へ入会の際に入会金兼終身会費の納入をお願いしています。本会の運営経費は、この終身会費と寄付金その他をもって充当されています。

本会の事業については総会で事業報告・収支決算・監査報告と事業計画案・収支予算案を提出し承認を求めています。この他に樹心会報の発行、短期大学・高等学校・中学校の学生・生徒の全国大会出場クラブへ激励金交付、卒業生へ記念品贈呈（卒業式当日）、母校への支援事業（名簿管理、同窓会ホームページの運営など）を実施しています。入会金兼

終身会費を学苑のご理解の上、平成二十八年年度卒業生から一万円に値上げさせていただきます。同窓会長名、短期大学長名、高等学校長名で保護者の皆様に文書でお願いし、ご理解ご協力を賜りました。

入会金兼終身会費の値上げについては県内の著名な私立学校、県立高校の同窓会の状況を調べたところ同じく一万円でした。このような諸般の情勢を鑑みて値上げをお願いいたしました。学苑の歴史は寛保元年（一七四一年）真宗高田派末寺僧侶の研修道場として第十七世圓猷上人が本山学寮で宗典講義をされたことに始まります。明治五年（一八七二年）以降は

一般子弟も収容し教育指導を実施した。これをもって明治五年を開校の年と定めている。平成三十四年は開校一五〇年を迎えます。学苑に協力して記念の年をお祝いしたいと存じます。その経費を準備しなければなりません。因みに昨年、短期大学の開学五〇年には、二〇〇万円を学苑へ贈呈しました。

同窓会は、会員相互の親睦を図るとともに母校の発展に寄与することを目的として運営いたしますので、一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。八月六日（日）の総会・懇親会には、お誘い合わせて大勢の皆様方が参加されますことを期待します。

ために、授業の充実は言うまでもありませんが、その他オーストラリア交換留学、イギリス語学留学、イングリッシュキャンプなどさまざまな取り組みをしています。そして、近年外国人講師を増強してきたところですが、今年も新たに外国人講師一名を迎えて五人体制としました。その内三名は三重県教育委員会から英語教員免許を交付されており、一般の教員と同等に授業を行うことが出来ます。

ICT教育に関しまして学苑でも検討を重ねてきたところです。今年度は、普通教室のすべてにプロジェクトターとスクリーンを設置することにしました。ただし、ITに関しまし

ては教科担当者の間に相当程度大きな技能格差があることや、さらには授業の進度等にも考慮せねばならないことから、今後さらに検討を継続していかねばなりません。設備を整えたからこれをどうにかして使わなければならない、という姿にはしたくないと考えています。

高大接続に伴う入試改革もいよいよ大詰めを迎えています。高等学校基礎学力テストは「高校生のための学びの基礎診断」として実施されるようです。また、現在のセンター試験に代わるものとして「大学入学希望者学力評価テスト」（仮称）のサンプル問題が最近示されました。現在の中学三年生からこ

の入試制度に移行します。センター試験と変わるところは、一部に記述式を導入すること、英語の試験には四技能を求めることとなります。その評価には民間のテスト結果を活用する方針ですが、文科省が今後どのような方向を示すか注目しているところです。

国の教育制度は、これまでも節目目で大きく変化してきました。現在もその節目の局面にあたっているのだと思います。本学苑は、どのような変化の時代であろうともなお、私教精神に基づく人間教育を旨とする高田の教育を今後も堅持していかねばならぬと思っております。



ご挨拶と報告  
中高校長  
梅林 久高

同窓の皆様におかれましては健康で活躍のこととお喜び申しあげます。日頃は本校の発展にご理解とご支援を賜っていることに深謝申し上げます。

この三月には卒業生568名(三年生374名、六年生194名)が、

学業、クラブ活動に精励し、友情の輪を広げ、楽しみや苦しみ、喜びや嘆きの思い出を一杯作り、さらなる自己実現を目指して飛翔して行きました。四月には新中学一年生202名、高校一年生415名、四年生188名を迎え、在校生合わせて2363名、63クラスでスタートしました。伸び伸びと澁刺と明るく元気に学業にクラブにと打ち込んでいきます。

県下でも少子化による生徒の減少が加速化する中で、高校入試は今年はその始まりでしたが、生徒募集数

より多くの生徒が入学してきてくれました。中学入試ではすでに小学生の減少が顕著ですが、おかげさまで定員の確保ができ、愛知県から14名の新入生を迎えることができましたことは、嬉しい限りです。

本校の建学の精神である仏教、親鸞聖人のみ教えに導かれ、人生で大切な思春期、青年期のこの時期を高田で過ごすことをご縁を大切に、自己の無限の可能性を信じて日々心身ともに豊かに育ってくれることと強く願っています。

昨年の就職、進学状況、部活動やその他の分野でも好成绩を上げていますので、詳細な内容や結果などは会報の記事をご高覧ください。幸甚です。進路実績では、生徒一人一人自己実現に向けて、大変精進して

きました。開設五十三年間を経る六年制は、功成名遂を保持しつつ、医学部への合格も多く出ました。三年制は国公立への合格者数37名を始め、そのうち医学部へ2名合格するなど、そのうち医学部へ2名合格するなどの成果を上げ、全体的に好評噴々であります。丁寧に指導し「伸ばす、深める、高める」決意であります。

日頃は本学の教育にご協力、ご支援をたまわり、厚く御礼申し上げます。

本年も、二百二十九名の学生が、こども学科、キャリア育成学科(オフィスワークコース・介護福祉コース)それぞれの課程を終え、短期大の学位を取得して社会へと羽ばたいていきました。三月末現在で、

部活動では、運動部文化部合わせて中学は28部、高校は48部があり、同窓会の「全国出場クラブ激励金」を頂戴し、多くの生徒を表彰できるとは大変嬉しいことでした。顧問は多忙な業務をこなす休日もクラブ指導・引率、試合にと専念して成果を上げて来ています。指導顧問の勤務状況は、昨今、社会問題になって

では中学が奨励賞、高校が努力賞に選ばれました。読書量の減少が叫ばれるなか、読書を楽しんでいる多くの生徒がいることは、今後の成長が楽しみです。また、アメリカのスタンフォード大学日本高校生プログラムで、高6の林美佑さんが、最優秀に輝き、同大学での授賞式に出席し、プレゼンテーションを行いました。

最後に教育界においては様々な改革提言がされ、とりわけ大学入試改革、ICTの教育の推進が叫ばれ、一方で少子化による生徒数の激減が喫緊の課題となっています。子供たちをいかに心身ともに健全に、いかなる時も平気で生き抜いていく力を養成して行くかが強く求められていますので、教職員の資質向上と一致団結して教育に当たる所存です。今後ともご支援ご協力を一層お願い申し上げます。

部活動以外での活躍も多くありましたのでご紹介させて頂きます。第26回青少年読書感想文全国コンクール中学感想文中学の部で中2水野亜美さんが「鼻」を読んで全国審査第三位に選ばれ、「短い文で的確な表現力をもって書かれている」との高い講評をいただきました。高校の部

生徒の皆さんが、このように、いろいろな分野で挑戦し、日々、努力精進されていることは、活気と魅力ある学校の一つの姿でもあります。先輩諸氏が構築されてこられた良き伝統と気風のおかげでもありますと痛感しています。また、高田の生徒として誇りと自覚をもちながらも、

新しい学修環境にも慣れて、学業に打ち込んでいくところです。さて、本学は昨年、開学五十周年を迎え、七月一日には記念式典を挙行しましたが、この式典の中で、「高田短期大学学歌」を披露させていただきました。本学には、昭和四十一年の開学以来「学歌」がありませんでした。そこで、この度の開学五十



ご挨拶と報告  
短大学長  
栗原 廣海

樹心同窓会会員の皆さまにおかれましては、ご壮健にてお過ごしのことと拝察申し上げます。



周年記念行事の一つとして、作詞を常磐井猷磨氏に、作曲を伴剛一氏にお願いして制作したものです。常磐井猷磨氏は真宗高田派の前法主で、短歌アララギ派の代表をなさっておいでの方です。伴剛一氏は高田中学校の卒業生で三重テレビにご勤務、制作番組の音楽を担当されるなど、作曲・編曲に異才を発揮しておられます。残念ながら楽譜は掲載できませんから、歌詞のみご紹介いたします。

「高田短期大学学歌」

浄きみ法につつまれて  
高きを仰ぐ若人が

学びの庭に相集い  
子らに寄り添う父母のごと  
夢にあふるる笑顔あり  
さあ、つなごうよ つなごうよ  
明るい家庭

深きみ法にいだかれて  
緑を仰ぐ若人が  
広きキャンパスに相集い  
老いに寄り添う父母のごと  
やさしさこぼれる笑顔あり  
さあ、つなごうよ つなごうよ  
明るい社会

広きみ法に安らぎて  
咲く花仰ぐ若人が  
高田の苑に相集い

人に寄り添う父母のごと  
心やわらぐ笑顔あり  
さあ、つなごうよ つなごうよ  
明るい世界

真宗高田派の宗門大学としての本学の建学の精神、教育の理念を見事に詠み込んだ歌詞に仕上げてくださいました。曲想も、スツと心に刻まれる、素晴らしいものです。今後は機会あるごとに学生、教職員全員で歌唱し、次の世代へと伝えていきたいと思えます。因みに、伴氏にお願いしてこの曲をアレンジしていただき、授業前後のチャイムとして利用しています。

昨年、津商業高校で女子バレー

ボールの指導に実績を上げてこられた秋津先生を監督にお迎えし、女子バレーボール部を強化した結果、四月から五月にかけて行われた「東海大学男女バレーボールリーグ」四部で無敗の優勝を飾り、一気に二部へ昇格することを目指して猛練習中であると申し上げました。その目標はクリアするとともに、何と、昨年度中に一部にまで駆け上り、今年度は新たに四名の新入生部員も加わって一部リーグ八チームの中で戦ってきた結果、ここでも好成績をおさめた。四位の成績をおさめることができました。八チーム中短大は本学のみ。

同窓生の皆さまにおかれましては、今後とも、本学へのご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

高田中学第八回生

同窓会について

毎年四月第一日曜日に続けてきました会を本年四月もつて終了いたしました。引き続き毎年四月第一土曜日十一時からプラザ洞津レストランにて昼食会を開催します。

予約の必要はありませんのでお気軽にご参加ください。尚、この件については平成三十年三月にハガキで御案内します。

平成二十九年四月  
幹事 今井 貞隆

寄附金

荒木幸子先生より  
高校S52年Ⅲ年D組様クラス会等の余剰金として46,599円  
ご寄付いただきました。  
今後の同窓会活動に有意義に使わせていただきます。  
ありがとうございます。

樹心同窓会協力金にご賛同いただいた会員の皆様

●ありがとうございます●

(卒業年度順)

佐 脇 功 (高校S25)	志 田 行 弘 (高校S40)	駒 田 康 成 (中3S50)
伊 藤 清 一 (高校S28)	増 亦 春 生 (高校S40)	後 藤 越 郎 (高校S50)
藪 谷 為 雄 (高校S37)	豊 田 碩 康 (高校S40)	岡 部 裕 子 (高校S50)
吉 村 清 子 (高校S40)	安 井 敏 明 (高校S44)	小 田 緑 (高校S50)
櫛 田 秀 子 (高校S40)	松 田 英 明 (中6S45)	河 北 浩 峰 (高校S54)
佐々木 君 代 (高校S40)	野 呂 敏 明 (高校S48)	藤 井 徳 雄 (高校S54)
岩 佐 靖 子 (高校S40)	川 田 明 (中6S49)	荒 巻 俊 之 (高校S60)
中 川 ちえ子 (高校S40)	千 草 篤 磨 (中6S49)	藤 原 雅 浩 (高校S60)
大久保 望 (高校S40)	宮 崎 美穂子 (高校S50)	藤 前 吏 司 (中6H7)
宮 村 謙 次 (高校S40)	水 谷 忍 (中6S50)	沢 田 育 子 (高校H17)
関 谷 昌 久 (高校S40)	宮 崎 弘 隆 (中6S50)	

協 賛 企 業 一 覧

(五十音順)

名 称	名 称
愛 知 (株)	ス ー パ ー ニ シ イ
ア イ ン ズ (株)	日本カルミック(株)名古屋オフィス
荒 川 制 服 (株)	(有) 博 進 堂 津 本 店
伊 藤 印 刷 (株)	(株) 白 揚 ブ ッ ク セ ン タ ー
津 伊 藤 販 売 店	写 真 の は せ
レ ン タ ル ド レ ス 衣 舞	長 谷 川 体 育 施 設 (株)
エ ス ・ ビ イ 企 画 (有)	(有) 樋 口 商 店
岡 三 証 券 (株)	百 五 銀 行 (株)
岡 写 真 館	(株) ヘ ル シ ー フ ェ ミ リ ー
(株) オ リ エ ン タ ル	富 士 ゼ ロ ロ ッ ク ス 三 重 (株) 津 営 業 所
近 畿 日 本 ツ ー リ ス ト (株) 津 支 店	藤 原 工 業 (株)
コ カ コ ー ラ イ ス ト ジ ャ パ ン (株)	(株) 武 道 東 海
三 和 書 店	ブ リ ク ス ト ン
(株) シ ス テ ム テ ク ノ	(株) フ レ ン ド ヤ マ ザ キ シ ョ ッ プ
シ ン リ ョ ー 特 機 (株)	(有) プ ロ フ ォ ー ト コ バ ン
鈴 木 商 事	(有) 平 治 煎 餅 本 店
(株) Z T V	別 所 書 店
瀧 本 (株)	ポ ッ カ サ ッ ポ ロ フ ォ ー ド & ビ バ レ ッ ジ (株)
千 巻 印 刷 産 業 (株)	本 の 王 国
中 京 銀 行 (株)	三 重 興 業 (株)
(株) 中 部 都 市 建 築 設 計 事 務 所	三 重 交 通 (株)
(株) 津 ド ラ イ ビ ン グ ス ク ー ル	三 重 ト ヨ タ 自 動 車 (株) 津 桜 橋 店
(株) 辻 工 務 店	ミ ヤ タ ス ポ ー ツ
筒 井 印 刷 (有)	名 鉄 観 光 サ ー ビ ス (株) 津 支 店
東 海 土 建 (株)	山 本 嘉 雄 事 務 所
東 邦 ガ ス (株) 三 重 支 社	(株) ラ イ フ プ ラ ン

# 新任教職員紹介

- 一、氏名
- 二、担当教科
- 三、担当部活動
- 四、趣味・特技
- 五、着任のことば

## 中・高等学校

一、天白 斉  
 二、国語  
 三、水泳部・演劇部  
 四、音楽鑑賞  
 五、本年度より高田学苑でお世話になっております。着任から三か月ほど経ちましたが、学習にも課外活動にも積極的な生徒たちと、情熱と信念をもって指導にあたられる先生方の姿に、このようなご縁に恵まれた喜びを日々噛みしめております。この素晴らしい学びの場のために、私も微力を尽くして職務に取り組んでいきます。私立高校での勤務は初めての経験となりますので、公立高校との違いに戸惑う場面が未だにありますが、高田学苑の発展に寄与できることは積極的に発信し、また、改めるべきことは謙虚な姿勢で改めていきたいと考えておりますので、ご指導とご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いたします。



一、若林 佑樹  
 二、保健体育  
 三、中・高陸上競技部  
 四、ゴルフ・マラソン  
 五、本年度より、母校である高田学苑でお世話になっております。

この素晴らしい環境の中、伝統と歴史のある本学苑で働ける機会を頂けたこと、有り難く感謝しております。

久しぶりに母校の校歌を聴き、懐かしい気持ちになったと同時に、身の引き締まる思いでいっぱいになりました。

生徒に信頼される教師をめざし、日々努力をしまいる所存です。新たな教育現場で慣れないことも多く、至らないところもありますが、日々精進し、成長していきたいと思っております。今後ともご指導のほどよろしくお願いたします。

### 一、Hope Marilyn Doe

二、本年度より高田学苑にお世話になっております。今年からALTとして皆さんの英語を担当します。

四、高校生の時、日本語や日本画に興味を持ち始めました。大学を卒業して、アメリカから日本へ来ました。なぜ日本に来たのかとよく聞かれます。沢山の理由がありますが、おそらく自分の人生で一度冒険を試みたかったからだと思います。新しい挑戦をするのは、

心を健康にする一番の方法です。三年前には、新挑戦としてアート活動も始めました。

五、私のPassionはアートです。フアンタジーのような自然と人間を巻き込んだ世界を描いています。県外で展示会もやっています。とても大変で、成功より失敗のほうが多いくらいです。ただ、Passionがあるから、諦めずに続けて成功したとき、「本当に生きている」と人生に価値を見いだせます。だから、どんな事でも、いくら難しくても、続けたら結果が出るので、皆さん一緒に頑張りましょう。よろしくお願いたします。

一、倉田 純子  
 二、非常勤講師  
 四、読書（ミステリー）  
 五、本年度より、ご縁あつて歴史と伝統のある本校に非常勤講師としてお世話になることになりました。元気で活発な生徒たちと熱心に指導をされていらつしやる先生方の姿を目の当たりにして、しっかりと頑張らなくては、と緊張感とワクワク感を持って勤務させていただいています。昔とは異なり現代はネット社会であり、日本のどこにいても世界中の情報をキャッチでき、また、世界に向けて様々な発信もできる時代です。そのツールとなる英語の習得は欠かせないものではないでしょうか。日本の明日を担う若者に成長するであろう生徒たちを前に、しっかりとした土台を築いていけるよう努力していきたいと思っておりますので、ど

うぞよろしくお願いたします。

### 一、石田 理可

二、英語  
 三、なし  
 四、映画・舞台鑑賞、旅行、機織り、乗馬  
 五、本年度より、高田短期大学で、本年度より中・高等学校で非常勤講師としてお仕事をさせていただいています。母校であるこの学苑で教壇に立つ日が来ようとは、夢にも思わなかった光栄なことですが、他で携わっている対象者は大学生や成人なので、生徒達があまにも初々しく、可愛らしく見えて仕方がありません。が、と、同時に

お世話になった恩師や職員の方にお会いすると瞬時に生徒だった頃の自分に戻ってしまい、緊張感でいっぱいになります。呼ばれ方も「さん」付けから「先生」に変わり、これまでに感じたことのないプレッシャーに押しつぶされそうですが、親鸞聖人がきつと見守ってくださいと信じ、このご縁を大切に精進してまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

一、松江 咲恵子  
 二、音楽  
 四、手芸、映画鑑賞  
 五、本年度より、非常勤講師としてお世話になっております。歴史と伝統のある高田学苑で勤務させていただくことになり、有り難く感じるとともに大きな責任を感じております。まだまだ経験も浅く、教

えるというよりは生徒との関わりの中から様々なことを気付かされる日々ですが、自分の未熟さを痛感しつつ、これから教員として成長していけるよう精進していこうと思っております。

幼少期にピアノを始めた頃から常に身近にあった音楽は、人生においてとても大事なことを教えてくれました。音楽とは、人間が豊かな生活を営む上で必要不可欠なものです。自分を開放し表現させることで、生徒それぞれの豊かなところを育てることを目指して指導に励みたいのです。

至らない点も多々ありますが、ご指導のおかげしてしましますが、ご指導のほどよろしくお願いたします。

### 一、藤澤 香津子

二、ソーシャルワーカー  
 四、読書、お寺・美術館巡り  
 五、本年度よりソーシャルワーカーとしてお世話になりますことをありがたく感じ、身の引き締まる思いでおります。

お子さま、教職員のみならずのおじやまにならないことをまず考え、今まで培ってまいりました相談支援の業務を活かしますようこれからも精進いたします。

いたらないことも多くあるかと存じますが、今後ともご指導くださいますよう、よろしくお願いたします。



# 短 大

一、山口 昌澄  
二、子ども学科  
四、音楽鑑賞、ギター  
五、ご縁ありまして、今年度より子ども学科にて、お世話になっております。昨年度までは、熊本保育養成校にて十年以上勤務しております。

諸先輩方に学びながら、本学が目指している質の高い学生支援を常に意識しながら、業務に勤しみたく存じます。

私の専門領域は、発達心理学や教育心理学ですので、主たる業務である保育者の養成はもちろん、地域子育て支援にも貢献できたらと考えております。

とにかく一人一人として、学生との対話を大切に、日々精進してまいります。ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

一、戸川 俊  
二、高田短期大学子ども学科  
四、ギター、音楽鑑賞  
五、本年度より高田短期大学子ども学科で助教としてお世話になっております。担当は主に保育実習指導を行っております。これまで香川県にて保育者として勤務し、昨年度までは新潟県で保育者養成を行ってまいりました。その後、ご縁があり、出身でもある三重県に戻ってくることとなりました。

現在保育業界は待機児童問題、人材不足、職員の処遇改善など

様々な状況にあります。ですが、そこで働く保育者の皆様は「子どもが大好き」という気持ちで保育を行っております。その気持ちがいつまでも継続できるように保育者養成、保育者支援を行って参りたいと思います。

至らぬ点が多々あるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

一、中畑 裕之  
二、キャリア育成学科  
四、趣味 ミュージアム巡り  
特技 特になし

五、ご縁があり、四月から高田短期大学キャリア育成学科で務めさせていただきますこととなりました。また、短大の社会連携組織の一つ、キャリア研究センターのセンター長を担当させていただきます。

前職は百五銀行グループの百五総合研究所で、地域調査部長として地域の産業・経済の動向調査や国・県・市町から委託を受けての様々な調査や計画づくりのお手伝い、また、地域企業の販路開拓やビジネスマッチングなどの企業支援を行って参りました。

これまでの経験も活かし、学生さんのキャリア育成や高田短期大学の地域貢献のお役に立てばと考えてます。

教育の現場は初めてですが、周りの方々に助けていただきながら職責を果たしたいと考えます。よろしくご指導の程、お願ひいたします。

平成29年度入試進路状況 (延べ数)

	三 年 制				小計	六 年 制		小計	合計	
	I 類		II 類			現	卒			
	現	卒	現	卒						
四年制大学	立	0	0	24	7	31	81	13	94	125
国	立	0	0	6	0	6	8	4	12	18
公	立	130	16	282	33	445	294	102	396	839
私	立	0	0	0	1	1	0	0	1	1
文部科学省所管外	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
海	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短大	立	0	0	4	0	4	0	0	0	4
公	立	33	1	10	0	44	0	0	0	44
私	立	2	1	5	0	8	0	0	0	8
国公立各種・専門学校	立	38	1	14	1	54	0	0	0	54
私立各種・専門学校	立	2	0	0	0	2	0	0	0	2
就職	立									

平成28年度生は、三年制I類183名、II類191名の合計374名、6年制194名が卒業しました。

平成29年度入試の合格者数および就職決定先を既卒者を含めまとめましたので、ご報告します。

今後とも同窓会会員の皆様のご声援よろしくお願ひいたします。

進路状況  
平成29年度入試の全体・3年制・6年制の進路結果は、次の通りです。

## 進路指導

## 高校進路指導部

本年度は三重大学に13名、うち1名は医学部医学科に合格しました。

過去5年間の合格者推移

	H25	H26	H27	H28	H29
卒業生	430	333	412	426	374
国公立大学	27	18	13	28	37
私立大学	503	361	477	448	445
短期大学	69	58	77	84	48
各種・専門学校	56	74	56	88	54
就職	10	7	3	12	2

○三年制  
主な大学進学先  
信州大学 2名  
静岡大学 2名  
名古屋工業大学 1名  
三重大学 13名  
広島大学 2名  
愛媛大学 1名  
名古屋市立大学 1名  
三重県立看護大学 2名  
慶應義塾大学 1名  
中京大学 16名  
南山大学 3名  
名城大学 18名  
皇學館大学 24名  
鈴鹿医療科学大学 21名  
京都産業大学 9名  
龍谷大学 7名  
高田短期大学 37名

本年度も昨年度同様、堅実な進学実績を残しました。特に今年度は三重大学医学部医学科に18名の卒業生が進学いたしました。

過去5年間の合格者推移

	H25	H26	H27	H28	H29
卒業生	217	190	213	188	194
国公立大学(全体)	124	132	132	120	106
国公立大学(現役)	99	95	103	92	89
私立大学	410	436	531	391	396
医学部医学科(私立大学含)	55	70	103	76	71

○六年制  
主な大学進学先  
東京大学 7名  
名古屋大学 8名(医学科2名)  
三重大学 25名(医学科18名)  
京都大学 11名(医学科2名)  
大阪大学 7名  
神戸大学 5名(医学科2名)  
慶應義塾大学 6名(医学科1名)  
早稲田大学 8名  
同志社大学 5名

国公立大学には37名が合格し、今までで最多となりました。また、私立大学にも中部、関西方面の多くの大学に合格、進学しております。

# 中・高部活動

## ■中・高柔道部

平成二十九年部員数

中学生 2年生 男子1名  
高校生 Ⅲ年生 男子2名  
Ⅱ年生 男子8名  
Ⅰ年生 男子3名

4年生 女子1名  
男子2名  
女子1名  
計20名

最近の諸大会成績(上位入賞のみ)  
中学生の部  
津市春季総体

男子個人60kg級 優勝 2年 木村玄紀

三重県中学生体重別選手権  
男子個人60kg級 3位 2年 木村玄紀

高校生の部

三重県高校柔道選手権大会

男子団体 5位

三重県高校総体柔道競技

男子団体 5位

男子個人 5位

60kg級 5位

66kg級 5位

66kg級 5位

5位

5位

5位

5位

5位

5位

5位

5位

5位

5位

5位

5位

市で開催となります。  
地元開催にて一人でも多くの選手  
が出場し、盛り上げられるよう今後  
さらに精進していきたいと思ひます。  
引き続きご支援、ご協力をいただき  
ますようよろしくお願いいたします。

## ■中・高剣道部

鋼の心の持ち主だと自負していた  
顧問ですが、今年ばかりは、何度か  
心が折れそうになりました。高校生  
は男子三人、女子三人での稽古がひ  
たすら続きました。道場が狭くて  
困ったことはありましたが、こんな  
ことは初めてでした。「勇猛精進」  
これは現在、高田中・高等学校剣道  
部の手ぬぐいに書かれている言葉で、  
「自らの信念に基づいて、困難をも  
のともせず、懸命に努力すること。」  
という意味があります。今の私たち  
にとっては何とも耳の痛い言葉で  
したが、ここで目を背けてはいけな  
いと、しっかりと手ぬぐいを巻き、毎  
日、皆が歯を食いしばりました。し  
かし、なかなか結果にはつながりま  
せん。そのような状況にもかかわらず、  
練習試合、合宿、合同練習など、  
今までと変わりなく、胸を貸してく  
ださる沢山の先生方には本当に救わ  
れました。これは、なんといいまし  
ても、高田中・高等学校剣道部の実  
績を築き上げ、伝統を立派に繋いで  
くださった先輩方のお陰だと思つて  
おります。

高田中・高等学校剣道部の長い歴  
史の中に、今年もなんとか小さいな  
がらも足跡を残すことが出来たこと  
にほっとすると同時に、伝統を絶や  
さず繋いでいくことの難しさや、責  
任を改めて感じた一年でしたが、覚  
悟を決めた一年でもありました。

来年は、いよいよ三重インターハ  
イです。その大舞台で大きな足跡を  
残し、先輩方が胸を張って母校剣道  
部を語れるよう、中学生、高校生共  
に、日々の稽古を大切に、一生懸命  
努力したいと思ひます。

## 【祝・昇段】

卒業生でもある、樋口勝太先生が  
五月、六段に昇段されました。おめ  
とうございます。

## ■中・高馬術部

今年度、馬術部は高校生十五名、  
中学生十名の計二十五名で活動して  
います。  
五月二十八日、愛知県森林公園乗  
馬施設で行われた全国大会出場をか  
けた団体戦・個人戦において、今年  
度は団体戦・個人戦ともに全国大会  
出場を決めることができました。  
「意志あるところに道は開ける」  
という言葉があるように、先陣を  
きつてのぞんだ主将の第一走行は、  
あとと部員をリードするものとなり、  
Aブロック二位という結果で、見事  
全国大会出場を自分たちの手で勝ち  
取ることができました。馬と人間が  
力を合わせて競技する唯一のスポー  
ツとして、生徒たちに「気持ちを通  
わせることの大切さ」を学んでほし  
いと感じた瞬間でした。

昨年十一月には、岩手県で行われ  
た「二〇一六希望郷いわて国体」に  
おいて、「少年団体障害飛越競技」  
で第五位に入賞することができまし  
た。今年度も引き続き、三重県の強  
化指定運動部にも指定していただき、  
一層の精進を重ねていく所存です。

中学・高校の三年間、あるいは六  
年間で、馬術というスポーツをより  
楽しむために、常に正々堂々とプ  
レーできる選手であると同時に、顧  
問一同、当たり前のことを当たり前  
にできるよう学校生活でのフェアプ

## ■中・高箏曲部

箏曲部は現在、高校二年生十一  
名、高校一年生十名、中学二年  
生十四名、中学一年生七名の計  
四十二名で活動しています。月曜  
日から金曜日の放課後に練習があ  
り、水曜日と金曜日には外部の先  
生に来ていただき、指導してい  
だいています。今年も新入部員が  
多数入部し、力を合わせて演奏で  
きるよう毎日練習に励んでいます。

昨年度、三重県高等学校日本音楽  
演奏会に出場しました。高校一年生  
にとつては、この演奏会が初めての  
大舞台で、不安や緊張、そして期待  
を抱きながら演奏会まで毎日練習を  
重ねました。練習では、なかなか上  
手に弾けず、部員全員がそろわない  
ことも多く、焦りを感じることもあ  
りました。しかし、そのような時は  
先輩方や先生が丁寧に教えてくださ  
り、時には部員同士で声を掛け合  
いながら心を一つにして頑張りました。  
その結果、本番では部員全員が団結  
し、今までで一番良く演奏すること  
ができました。そして、みえ高文祭  
に部門代表として出場することがで  
きました。このような経験は私たち  
にとつて、とても貴重なものとなり  
ました。

私たちはこの経験から、大人数で  
団結することの難しさを学びました。  
しかし、一緒に頑張り励まし合う仲  
間がいれば、その困難を乗り越える  
ことができるのだと思ひました。  
今年度も演奏会に出場します。こ  
れからその演奏会に向けて、部員一  
同で力を合わせ、日々の練習を積ん

でいきたいと思ひます。  
■中・高文芸部  
文芸部は、高校文芸部員十七名と  
中学文芸部員二十名とが一緒に活動  
しています。  
高校文芸部は、昨年第三十九回全  
国高等学校総合文化祭広島大会に、  
詩部門、短歌部門の二部門で県代表  
に選ばれて参加しました。また、第  
十一回全国高校生短歌大会(盛岡短  
歌甲子園)に出場し、団体戦では力  
が及びませんでした。個人戦で決  
勝進出を果たすことができました。  
さらに第三十一回全国高校文芸コン  
クールにおいては、部員の作品が俳  
句部門で優秀賞、小説部門で優良賞  
を受賞し、短歌部門では入選するこ  
とができました。三部門で入賞、入  
選したのは、昨年に続き二度目です。  
中学文芸部には公式な大会があり  
ませんが、高校生部員と切磋琢磨し  
ながら創作活動に励んでいます。  
文芸部は、これからもますます積  
極的に活動していきたいと思ひます。

■中学ソフトテニス部  
男子の部員数は三年生十八  
人二年生十人一年生十四人の計  
四十二人います。僕たちは日々の練  
習で他人のミスを責めることなく、  
皆で笑い合ひ話し合ひ出来ないこと  
ろを解決してきました。  
練習は平日の放課後、土日と毎日  
休みなく行っています。オフの時に  
民間のコートに打ちに行ったり時に  
は遊びに出かけたりとチームワーク  
を深めています。また、外部のコ  
ートの練習会や津市の中学校の仲間と  
の練習会や練習試合などを通じて、  
強くなるよう日々努力しています。  
その努力が実り、昨年の先輩に続  
いて二年連続で津支部春季大会個人  
戦で準優勝の成績を収めることが出  
来ました。県大会に向けて練習に取

り組んでいます。夏の大会ではより上の結果を目指しこれからも日々練習を続けていこうと思います  
先輩方におかれましてはお忙しい毎日とは存じますが、ぜひ「本山コート」にお立ち寄り下さい。先輩からのお話やアドバイスなどをうかがいたいと思っています。

キャプテン 小林 洗平

【女子】私達、中学女子ソフトテニス部は、現在三年生十人、二年生七人、一年生二十人の合計三十七人で活動しています。二年生は一年生の半分もいませんが、ボールの打ち方などを一年生に毎日教えています。一年生は徐々にボールを打てるようになってきて、部活にも馴染んできました。三年生は最後の大会まで二ヶ月しかない中、少しでも上手くならうと一生懸命に励んでいます。

初めは声の小さい私達でしたが、最近は大きな声が出るようになり、チームとしてまとまってきました。チームで協力し合って大会で良い成績を残せるように努力していきたいと思っています。

部長 森川 結名

■中学陸上部

中学陸上競技部は、男子二十一名、女子二十一名の計四十二名で活動しております。今年度は一年生が二十一名入部しました。そのほとんどが陸上競技未経験者ですが、上級生の指導を受け、日々練習に励んでおります。

練習では、主に長距離と短距離に分かれて、各パート長が中心となり決めたメニューに取り組みようとしております。その際は、個々で別々の練習をするのではなく、部員が一体となって取り組むよう心がけております。もちろん、学年や男女の違いにより走る速さは変わりますが、

距離やペースを調整するなどの工夫をして、皆で励まし合いながら走る事ができる環境を整えるようにしております。

また、大会に臨むにあたっては、部員それぞれが具体的な目標を設定するようにしております。自己ベストの更新を目指すのか、参加標準記録の突破を目指すのかなど、大会ごとの位置づけを明確にすることにしております。

さらに、ルールの遵守や挨拶の徹底などを通し、人間性の育成にも努めております。連綿と続く中学陸上競技部の伝統を受け継ぎ、精進していく所存でありますので、同窓会員の皆様のご声援のほど、よろしくお願い致します。

〈平成二十九年度の表彰(五月末まで)〉

- 第三十三回三重リレーカーニバル  
中学男子ジャベリックスロー  
第4位 3年a組 川尻 功陽
- 二〇一七年度第一回記録会  
中学男子3000m  
第2位 2年c組 吉田 亘
- 中学男子1500m  
第3位 3年e組 山路 湧暉
- 中学男子低4x100mR  
第2位 2年b組 多湖 友星
- 1年c組 水谷 玲仁
- 1年d組 西村 和将
- 2年a組 鈴木 勇大

■中学バスケットボール部

「夏の大会で最高の試合を！」

私達中学バスケットボール部は近年稀に見る勢いで成長しています。今年度は男子二十九名(三年生八名、二年生十一名、一年生十名)女子二十一名(三年生四名、二年生八名、一年生九名)で活動しています。

練習は、平日朝練と放課後練習、休日は練習試合や公式戦に出かける等、活発に活動しています。

主力の三年生は一年生の夏からチームの中心となって活動してきました。殆どのメンバーが中学からバスケットを始めましたが、皆少しでも上手くならうと日々一生懸命練習に励みました。特に男子は個々の身体能力が高い事も幸いし、メキメキと実力をつけていきました。また早い時期から試合経験を数多く重ねてきた為、今ではチームプレーのレベルも格段に上がりました。その自信から公式戦でも、念願の一回戦突破を見事果たしたり、カップ戦で優勝したりする等、奇跡の旋風を巻き起こしています。その勢いは他校のチームを驚かせる程です。中体連春季大会では西橋内中学校に僅差で敗れましたが、夏の大会に向けてまだまだ伸びる可能性が十分あります。

女子も三年生の向上意識が非常に高く、自分たちで課題を見つけ何度でも繰り返し練習をしています。春の大会では久居中学校相手に粘り強く闘いました。メンバーは皆、バスケットボールが本当に大好きです。厳しい練習にも誰も根を上げる事なく、休む事なく参加している姿に顧問の私が心を打たれる事があります。バスケットで培った精神力を学業や学校生活の中でも活かせる様にとメンバーには常々話しています。こうした経験が将来社会で活躍できる人物を育てる事に繋がると思えば顧問も指導に熱が入ります。また最近歴史代メンバーが卒業後立派に成人してからも後輩の指導に帰って来てくれるようになりまし。まるで家族のような絆と温かさを持つ雰囲気も生まれています。夏の大会を最高のゲームにし、高田中学バスケットボール部に新しい伝説を残してくれ

る事を期待しています。

■中学バレーボール部

私達中学バレーボール部は、三年生五人、二年生九人、そして一年生六人の合計二十名で県大会出場を目指して毎日一生懸命に励んでいます。

私たちは中学に入るまでバレーボールをしたことがなく、最初はキャッチボールやボールをコントロールする練習から始めました。自分の思うようにボールを操るのが思っていた以上に難しく、とても苦戦していましたが、今となっては相手を崩すことができるようなサーブ、またスパイクやブロックも決められるようになりそれぞれ一人一人が成長しているのを感じます。

バレーボールは「心のスポーツ」と呼ばれることもあるように、ネットを挟んだ心と心の戦いです。チームメイトへの思いやりの心、様々な人への感謝の心、どんなボールでも諦めない心、常に攻め続けられる強気な心。たくさんの「心」が合わさって勝利という結果を得ることが出来ます。私たちは、試合でそのような「心」を持つプレーするには普段の生活が大切だと考え、普段の生活からきちんとすることを心掛けています。例えば、自分から先生方に挨拶することや、与えられた課題の期日を必ず守ることもその一つで、普段の生活から見直していくことで自信が生まれると思います。

次の大会は七月下旬にありますが、これは三年生にとって最後の大会となります。悔いの残らないように一日一日を大切に練習に励みたいで

中学バレーボール部 主将

■中学サッカー部  
こんにちは。中学サッカー部です。僕たちは普段、顧問の北先生と共に日々、練習に励んでいます。

そんな僕らが目標としていることは、県大会の優勝です。僕たちの代は、メンバーの身体能力などに恵まれ、津市内でも比較的上位にいます。言われてしまいました。しかしそのおごりのせいか、直近の春の中体連ではPK負けを喫し、二回戦で敗退しました。夏はチャレンジャーの気持ちで行くと決め、謙虚にプレーするので、応援よろしく願います。

ところで、サッカーというスポーツは世界で最も競技人口が多いと言われています。このことが僕たちに教えてくれることが二つあると思います。一つ目は、プレイヤー数が多いということ、プレイヤー同士の間、つながりが増えるということであり、それぞれに対してお互いリスベクトと、つまり尊敬をすべきだということです。このことは、サッカー界において常識的なものですが、僕たちはそれを徹底できていないので、今後しっかりと徹底していこうと思っております。二つ目は、プレイヤーの数だけサポートしてくれる方も多くいらっしゃるの、その方たちに対してプレイヤーは常に感謝の気持ちをもつべきだということです。この二点を考えると、サッカーというスポーツが僕たちにおしえてくれることは、「何人にも感謝、尊敬の意を持つべき」ということです。これまでも、これからも、周囲への感謝の気持ち忘れずにプレーできればいいと思います。

■中学なぎなた部

現在十三名が所属し、高校生と一緒に稽古に励んでいます。昨年度は七月に和歌山市で行われたJOCジュニアオリンピックカップ全国中



学生なぎなた大会で三位に入賞。初めて全国の舞台で表彰台に立ちました。優勝を目指して臨んだ大会でしたが、残念な気持ちもありました。直後の東海大会では個人で同大会で1・2フィニッシュを成し遂げた弥富中学校の選手を破って優勝を果たし、リベンジした形になりました。夏の少年錬成大会では二年生が二名ベスト8に入賞し、三年生の勢いを引き継いでくれました。本年はイギリス留学との兼ね合いもあり、全国大会は少年錬成大会のみのお出場になります(全国中学生大会は欠場します)が、そこで活躍し、来年度の三重インターハイに繋げていきたいと考えています。

(主な戦績)

・平成二十八年度全国中学生なぎなた大会(平成二十八年七月和歌山県ビッグホール)  
団体 3位  
(中尾桜子・長田梨奈・直田李穂)

・平成二十八年度全国少年少女武道錬成大会なぎなた競技(平成二十八年八月日本武道館)  
中学生二生試合の部 ベスト8  
小林由珠・渥美麻友

・平成二十八年度東海なぎなた選手権大会(平成二十八年十一月静岡県武道館)  
中学生女子個人の部  
優勝 中尾 桜子  
3位 長田 梨奈  
5位 直田 李穂

中学生演技の部  
3位 中尾桜子・直田李穂組  
平成二十九年度三重県なぎなた選手権大会(平成二十九年四月津市芸濃アリーナ)  
中学生女子個人の部  
2位 脇田 悦  
3位 小林 由珠

# クラブ成績表(中学校)

◎津支部春季ソフトテニス大会			
・団体の部	準優勝	高田中学校	
	準優勝	3年d組	多田 涼太 3年e組 玉分 彦毅
◎津市中学校夏季総合体育大会ソフトテニス競技			
・女子団体の部	3位	高田中学校	
・男子団体の部	準優勝	高田中学校	
・男子個人戦	準優勝	多田・玉分組	
		3年d組 多田 涼太 3年e組 玉分 彦毅	
・男子個人戦	3位	界外・金組	
		3年b組 界外 誠 3年b組 金 律碩	
◎みえスポーツフェスティバル			
・男子の部	優勝	高田中学校3年生チーム	
・女子の部	優勝	高田中学校3年生チーム	
・女子の部	3位	高田中学校2年生チーム	
◎ルーセントカップ 津支部ソフトテニスインドア大会			
・女子の部	第3位	2年d組	森川 結名
		2年d組	紀平 悠里
◎平成28年度 アジヤカップ1年生ソフトテニス大会			
第3位	近藤・豆田組	1年c組	近藤 康行
		1年b組	豆田 隆哉
【男子バスケットボール部】			
◎第二回TORA-CUP	優勝	高田中学校	
【水泳部】			
◎三重県中学校水泳競技大会			
・女子200m個人メドレー	6位	1年c組	北川 水都
◎第68回三重県中学校学年別水泳大会			
・女子1年生200m個人メドレー	3位	1年c組	北川 水都
・女子1年生400m自由形	5位	1年c組	北川 水都
【将棋部】			
◎第12回小中学校将棋 団体戦 三重県大会			
・中学校の部	優勝	高田中学校	
・中学校の部	優勝	高田中学校	
・中学校の部	優勝	高田中学校	
【柔道部】			
◎津市中学校春季大会柔道競技			
・女子階級別	優勝	3年b組	飯田 美緑
・男子60kg級	優勝	3年e組	別所 幹太
・男子55kg級	3位	1年e組	木村 元気
◎三重県中学校柔道体重別選手権			
・女子階級別	準優勝	3年b組	飯田 美緑
◎津市中学校夏季総合体育大会柔道競技			
・男子55kg級	優勝	1年e組	木村 元気
・男子60kg級	優勝	3年e組	別所 幹太
・男子81kg級	準優勝	3年b組	守屋 鳳人
・女子階級別	優勝	3年b組	飯田 美緑
・男子団体の部	4位	高田中学校	
◎三重県中学校柔道大会			
・女子階級別	準優勝	3年b組	飯田 美緑
◎第38回東海中学校総合体育大会柔道競技			
・女子階級別	3位	3年b組	飯田 美緑

・男子の部	優勝	3年c組	片山 慶吾 3年a組 梅村 文也
◎第12回津シティマラソン大会			
・5km男子中学生	第3位	3年c組	中村 洸文
・2km男子中学生	第1位	2年a組	山路 湧暉
・2km男子中学生	第2位	1年b組	吉田 亘
【馬術部】			
◎春季三重県馬術大会			
・STARTER CLASS II	3位	3年c組	赤塚 可奈
・小障害飛越競技C-I	優勝	3年d組	松永 鈴
・小障害飛越競技C-II	3位	3年d組	松永 鈴
◎2016 ジャンピングインミエ			
・小障害飛越競技C-1	3位	3年c組	赤塚 可奈
・小障害飛越競技B	3位	3年a組	長谷川 圭
◎2017 新春三重県馬術大会			
・小障害飛越競技C	第1位	3年c組	赤塚 可奈
・小障害飛越競技C	第2位	2年d組	北野 拓海
・小障害飛越競技C	第3位	3年c組	赤塚 可奈
・小障害飛越競技B	第1位	2年d組	藤原 仁
・小障害飛越競技B	第2位	3年a組	長谷川 圭
【俳句同好会】			
◎東西俳句相撲	優秀句	2年c組	奥山 凜
【なぎなた部】			
◎第4回恒雄杯なぎなた大会			
・中学生団体の部	優勝	高田中学校Aチーム	
・中学生団体の部	優勝	高田中学校Aチーム	
・中学生団体の部	優勝	高田中学校Aチーム	
◎JOCジュニアオリンピックカップ第24回全国中学なぎなた大会			
・団体の部	3位	3年c組	中尾 桜子
		3年d組	長田 梨奈
		3年d組	直田 李穂
◎第39回東海なぎなた大会			
・中学生女子個人の部	3位	3年c組	中尾 桜子
		3年d組	長田 梨奈
・中学生女子演技の部	3位	3年c組	中尾 桜子
		3年d組	直田 李穂
◎平成28年度津市民体育大会 なぎなた競技			
・中学生個人の部	優勝	3年d組	長田 梨奈
		3年d組	直田 李穂
		3年c組	中尾 桜子
・中学生演技の部	優勝	3年d組	長田 梨奈
		3年d組	直田 李穂
		2年a組	小林 由珠
【卓球部】			
◎津市中学校春季大会卓球競技			
・男子団体の部	3位	高田中学校	
◎津市・鎮江市友好都市提携記念第28回鎮江杯争奪卓球大会			
・女子中学生団体A	敢闘賞	高田中学校	
・男子中学生団体B	敢闘賞	高田中学校	
【ソフトテニス部】			
◎津市中学校春季大会ソフトテニス競技			
・男子の部	優勝	高田中学校	

## 平成28年度

【陸上競技部】			
◎第4回 鈴鹿市記録会			
・中学男子 1500m	優勝	3年c組	中村 洸文
・中学男子 800m	3位	3年c組	中村 洸文
◎第39回 四日市中学校カーニバル			
・2年男子1500m	7位	2年a組	山路 湧暉
・1年女子800m	7位	1年c組	鈴木 聖菜
◎第48回鈴鹿市陸上競技選手権大会			
・中学男子1年1500m	7位	1年b組	吉田 亘
・中学男子100m	2位	3年e組	下谷 充仁
・中学男子3000m	2位	3年c組	中村 洸文
・中学男子800m	6位	3年c組	中村 洸文
・中学男子走高跳	2位	3年d組	小林 千隼
・中学男子走幅跳	4位	3年d組	小林 千隼
◎第62回全日本中学校通信陸上競技大会三重大会			
・男子1500m	6位	3年c組	中村 洸文
・男子100m	5位	3年e組	下谷 充仁
・男子2年1500m	5位	2年a組	山路 湧暉
・女子1年800m	3位	1年c組	鈴木 聖菜
◎平成28年度津市中学校陸上競技大会			
・男子3000m	2位	3年c組	中村 洸文
・男子800m	2位	3年c組	中村 洸文
・男子走高跳	2位	3年d組	小林 千隼
・男子走幅跳	3位	3年d組	小林 千隼
・男子100m	3位	3年e組	下谷 充仁
・男子200m	3位	3年e組	下谷 充仁
・男子400m	2位	3年c組	伊藤 敦樹
◎第37回三重県ジュニアオリンピック			
・男子A100m	8位	3年e組	下谷 充仁
◎平成28年度津市民体育大会			
・中学男子800mR	3位	3年e組	下谷 充仁
		3年d組	小林 千隼
		3年a組	中川 裕資
・中学男子3000m	2位	3年a組	梅村 文也
・中学男子3000m	優勝	3年c組	中村 洸文
・中学男子1500m	優勝	3年c組	中村 洸文
・中学男子走高跳	2位	3年d組	小林 千隼
・中学男子100m	2位	3年e組	下谷 充仁
・中学女子低学年400mR	2位	2年d組	近藤 花音
		1年b組	古市 珠々
		1年b組	柴田葉々子 神尾咲々愛
◎第69回三重県中学校陸上競技大会			
・男子800m	5位	3年c組	中村 洸文
◎2016 津秋季記録会			
・中学男子3000m	第1位	3年c組	中村 洸文
・中学男子3000m	第2位	3年a組	梅村 文也
◎平成28年度津市中学校駅伝競走大会			
・第4区	区間賞	3年d組	小川 優真
・第2区	区間賞	3年c組	中村 洸文
・第2区	区間賞	2年a組	神尾咲々愛
・男子の部	優勝	2年a組	山路 湧暉
		3年c組	中村 洸文
		1年b組	吉田 亘
		3年d組	小川 優真



●第五回恒雄杯なぎなた大会(平成二十九年五月大阪府松原体育館)  
 中学女子団体  
 優勝 高田中学Aチーム  
 (渥美麻友・高林由珠・脇田悦) 二連覇

■中学軟式野球部

僕たちは中学軟式野球部です。部員は三十三人でみんな仲良く活動しています。チームとしての目標は県大会出場です。少し高い壁かもしれませんが、その目標を目指して部員一同日々努力しています。部員たちも、各個人で目標を設定して毎日練習をしています。全員が目指しているものがあります。それは「心の成長」です。野球を通して、精神的にも大人になっていきたいというのが部員全員に共通している願いです。入部したときはまだまだだつたとしても、引退するときには周りの同級生からも変わったと思われるようになりたいと思っています。

3d 29席 舟田 琉希也

■中学卓球部

私たちは、三年生男子十八人女子十人、二年生男子十一人女子十九人に加え、今年も男子十六人女子十三人も一年生が入部し、男女合わせて八十七人で活動しています。中学卓球部は先輩も後輩も仲がよく、大人気で楽しみながら練習しています。ラリーや試合形式での練習を中心とし、卓球台が足りない時には筋トレやランニングも行っています。また、ネットを使い、一人が玉出しをしてスマッシュの練習をしたり、試合に向けて上達しているように、毎日頑張っています。

●昨年男子女子、共に鎮江杯ベスト8という成績を残しました。中体連夏季大会ではベスト8を目標とし

佳作	2年b組	野内 爽子
佳作	2年b組	長野 雄大
佳作	2年b組	井上陽太郎
佳作	2年c組	藤村 凜昇
佳作	2年c組	川本 雄大
佳作	2年d組	近藤 花音
佳作	2年d組	山崎萌々香
佳作	2年d組	野木 敬斗
佳作	2年d組	片山祐祐稀
佳作	2年d組	大石 瑞貴
佳作	2年e組	中川 陽菜
学校賞		高田中学校
◎高円宮杯第68回全日本中学校英語弁論大会三重県大会		
弁論の部	優秀賞	3年b組 水納 綾香

平成29年度

【ソフトテニス部】		
◎平成29年度 津支部 春季ソフトテニス大会		
・中学女子団体の部	第3位	高田中学校
◎平成29年度 津支部春季大会		
・個人戦の部	準優勝	國分・小林組
	3年a組	國分 康伸
	3年c組	小林 沈平

【陸上競技部】		
◎第33回三重リレーカーニバル		
・中学男子ジャベックスロー	第4位	3年a組 川尻 功陽
◎2017第1回津記録会		
・中学男子低4×100mR	第2位	多湖 友星
		水谷 玲仁
		西村 和将
		鈴木 勇大
・中学男子3000m	第2位	2年c組 吉田 亘
・中学男子1500m	第3位	3年e組 山路 湧暉
◎第4回鈴鹿市記録会		
・中学男子1年100m	3位	1年c組 水谷 玲仁

【柔道部】		
◎春季柔道大会		
・男子60kg級	優勝	2年e組 木村 玄紀
◎第48回三重県中学生柔道体重別選手権大会		
・男子60kg級	第3位	2年e組 木村 玄紀

【なぎなた部】		
◎第三十一回三重県なぎなた選手権大会		
・試合競技 中学生の部	2位	3年a組 脇田 悦
・試合競技 中学生の部	3位	3年c組 高林 由珠
◎第五回大阪体育大学なぎなた部OG会恒雄杯		
・中学生団体の部	優勝	高田中学校A

【剣道部】		
◎剣道春季大会		
・男子団体の部	3位	高田中学校
・男子個人の部	3位	2年e組 石須 永哲

【将棋部】		
◎第三十八回全国中学校選抜将棋選手権三重県大会		
・女子の部	3位	2年d組 伊豆川心優

◎第45回佐佐木信綱顕彰歌会			
・佐佐木信綱先生選 中学生の部	信綱大賞	1年b組	宮口 紗良
◎みえの地物が一番朝食メニューコンクール			
努力賞		3年a組	垣本 江璃
◎第62回青少年読書感想文全国コンクール三重県審査			
最優秀賞		1年c組	水野 亜美
◎第34回椿大神社短詩形文学献詠祭			
・俳句の部	前田典子先生選	2年d組	田中 優芽
	坂口緑志先生選	2年b組	伊藤 有希
	坂口緑志先生選	2年d組	廣田 悠里
	金子兜太先生選	2年d組	澤田 晴人
・短歌の部	大辻隆弘先生選	2年a組	森本 貴大
	大辻隆弘先生選	2年a組	伊藤 鴻司
	大平修身先生選	2年c組	寺田 博英
	大平修身先生選	1年b組	宮口 紗良

◎第16回読書感想文 こころの木			
・中学生部門	こころの本賞	3年a組	原田 悠登
◎生命保険文化センター主催第54回中学生作文コンクール			
都道府県別賞 三重県2等	2年a組	三輪ひなた	
都道府県別賞 三重県2等	1年e組	大谷 夏鈴	
都道府県別賞 三重県3等	3年c組	赤塚 可奈	
都道府県別賞 三重県佳作	2年c組	竹村 来蘭	
都道府県別賞 三重県佳作	1年d組	北角 拓夢	
都道府県別賞 三重県佳作	1年d組	井上 陽菜	
都道府県別賞 三重県1等	3年c組	坂野 里佳	

◎琵琶湖・淀川流域水の作文コンクール			
流域賞		1年c組	水野 亜美
◎第38回全日本中学生の作文コンクール			
入選		1年c組	水野 亜美
◎平成28年度 中学生の税についての作文			
東海税務連絡協議会会長賞		3年a組	藤本 梨那

◎「生物多様性研修in屋久島」中学生環境作文コンクール			
金賞		1年b組	宮口 紗良
◎第60回全国学芸サイエンスコンクール			
・読書感想文 旺文社赤尾好夫記念賞(銅賞)	3年a組	中尾 絢香	
◎高田中学校3年生英語スピーチコンテスト			
第1位	3年e組	砂子 瑛祐	
第2位	3年c組	石田 正雪	
第3位	3年e組	高木 美早	
第3位	3年d組	小澤 尚果	
第3位	3年c組	松岡 慧吾	

◎日本郵便株式会社主催第49回手紙作文コンクール			
・はがき作文部門 中学生の部	銅賞	1年a組	小西 彩月
◎第37回三重県小中学校書初め展			
・第三学年	イオン賞	3年a組	藤本 梨那
・第一学年	イオン賞	1年a組	丸山 弥子
・第一学年	特選	1年a組	水谷満良乃
・第三学年	特選	3年e組	瀬戸真優美

◎谷川ことすが書道コンクール			
・中学生の部	特選	3年d組	山守 昌昭
◎独立行政法人国際協力機構主催 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2016			
・中学生の部	中部国際センター所長賞	3年d組	沖中奈津実
	学校賞		高田中学校

◎第16回作文コンクール 「人間性豊かな実話-命あることについて思うこと」			
銀賞		2年c組	奥山 凜
入選		2年a組	松田 璃子
佳作		2年a組	山路 湧暉
佳作		2年b組	吉田 裕紀

【サッカー部】		
◎平成28年度津市民体育大会		
・サッカー競技	優勝	高田中学校
【剣道部】		
◎津市中学校春季大会剣道競技		
・男子団体の部	準優勝	高田中学校
◎津市中学校夏季総合体育大会剣道競技		
・男子団体の部	3位	高田中学校
◎平成28年度津市民体育大会剣道競技		
・中学生男子の部	3位	2年a組 緒方理一郎

【クリケット愛好会】		
◎2016年日本19歳以下クリケットリーグサマーフェスティバル富士		
・ベストイレブン	3年b組	谷川 慶悟

【科学部電気班】		
◎第13回中学校技術家庭科創造アイデアロボットコンテスト		
・応用部門	優勝・ロボコン大賞	2年c組 岩倉 光佑
	優勝・ロボコン大賞	2年c組 酒徳 拓実
	優勝・ロボコン大賞	2年c組 寺田 博英
	準優勝・審査員特別賞	3年a組 野原敬太郎
	準優勝・審査員特別賞	3年a組 原田 悠登
	技術賞	2年d組 奥地 啓太
技術賞	2年e組 今津皓太郎	

◎第10回東海・北陸地区中学生創造ものづくり教育フェアin石川 「創造アイデアロボットコンテスト」		
・応用部門	第3位	2年c組 岩倉 光佑
	第3位	2年c組 酒徳 拓実
	第3位	2年c組 寺田 博英

◎きのくにロボットフェスティバル2016		
第2位 実行委員会副会長賞	2年c組	岩倉 光佑
アイデア大賞	2年c組	岩倉 光佑
◎第17回全国中学生創造ものづくり教育フェア		
優秀賞	2年c組	寺田 博英
優秀賞	2年c組	酒徳 拓実
優秀賞	2年c組	岩倉 光佑

【個人表彰】		
◎全国中学校将棋選手権大会三重県大会		
・中学生の部	準優勝	1年e組 伊豆川心優
◎第20回約束(プロミス)エッセー大賞		
・中学・高校生	特別賞	3年e組 神内萌乃香
◎第27回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞		
佳作	2年d組	小林 大和
佳作	3年c組	前田 百香
佳作	3年a組	田中 琴音
佳作	2年b組	辻井 昂矢
佳作特別賞	3年e組	長谷川 咲

◎第54回JA共済三重県小中学生書道コンクール		
・半紙の部	銅賞	1年a組 丸山 弥子
◎第66回全国小中学校作文コンクール三重県審査		
最優秀賞		3年d組 直田 李穂
優秀賞		3年a組 垣本 江璃
優秀賞		3年c組 上田 華央
優秀賞		3年d組 岡本 季苗
佳作		3年d組 中谷 美波
佳作		3年e組 石井 ころこ
佳作		2年b組 伊藤 安珠
◎産経新聞社主催京都女子大学共催「第五回～家族を歌う～河野裕子短歌賞」		
・青春の歌部門	湖南省教育長賞	1年b組 宮口 紗良

て日々練習に励んでいきたいと思っ  
ておりますので、よろしく願ひい  
たします。

■中学茶道部

高田中学校茶道部の、現在の部員  
数は、三年生二人、二年生十二人、  
一年生九人の計二十三人です。毎週  
月曜日、水曜日、木曜日に茶室にて  
活動をしています。普段は、お抹茶  
をたて、各自それぞれが持参したお  
菓子を頂きながら日常の礼儀作法を  
学んでいます。学年関係なく仲睦ま  
じいので、会話が弾み、ゆったりと  
和を味わうことができます。また、  
長期休暇には、顧問の先生がお点前  
の作法や袱紗のたたみ方など、より  
本格的な稽古をしてくれます。文化  
祭では、三年生を中心として、お茶  
会が催されます。部員は浴衣を身に  
纏い、日々の努力の成果をお客様に  
披露します。

利休は茶道の精神を「和敬清寂」  
と表しました。私は、この言葉は今  
までのお稽古を通して、「互いに心  
を開き、敬い合い、いつも冷静でい  
ることができ、心身共に清めるとい  
うことだ」と理解しました。この一  
句四文字の真意を体得し、実践す  
ることが茶道の本分だと思えます。  
日々の努力を怠らずにこの一句四文  
字を体得し、お茶会でも実践した  
と思います。

■高校新体操部

新体操部です。本年度も部員一同、  
部活と勉強の両立を目指し、日々練  
習に励んでいます。普段の練習とし  
ては、基礎体力作りを中心に基本  
な技はもちろん、高度な技への取り  
組みも行っています。高度な技を練  
習する際、一番の妨げになるものが  
恐怖心です。しかし、それを乗り越  
えていかなければ、試合でいかにミ  
スなく演技をしたとしても、点数が

上がりません。選手たちには、その  
恐怖心に打ち勝つ精神力も同時に磨  
いてもらうことを目指しています。  
本年度は山形県で八月に全国高校  
総体(インターハイ)があります。

昨年度までの三年間、個人総合の部  
において、堀孝輔くんが優勝や準優  
勝という素晴らしい結果を残して  
くれました。その堀くんも卒業し、現  
在は新チームでインターハイを目指  
しています。個人はもちろんですが、  
団体での出場を目指し、六月に三重  
県で行われる東海高校総体において  
その出場権を獲得したいと考えてい  
ます。

最後になりますが、新体操部OB  
の皆様の心暖かな応援ありがとうございます。  
今後も、各種大会におい  
て、審判等をお願いをさせていただ  
くと思いますが、その際はよろしく  
お願いします。また、お時間があ  
りましたら、部活動や大会を見に来  
ていただきたいと思います。

■高校硬式野球部

私たち高田高校硬式野球部は、多  
くの方々を支えていただきたなが  
ら日々活動しています。

新チーム結成後、「声」という柱  
を掲げました。先輩方が引退されて  
から、練習試合を多く入れていただ  
き実践を中心とした練習を経て秋季  
大会を迎えました。この大会では県  
大会に出場することができず悔しい  
思いをしました。

そこで冬の練習では保護者の方の  
協力を得てマウンドを作っていただ  
き、例年以上に技術の向上を目指し  
ました。  
この練習が糧となり春季大会では  
部員一人一人がこれまで以上の実力  
を発揮し、県大会出場を成し遂げベ  
スト8という好成績を残すことがで  
きました。  
これまで何度もけがをしたり、悔

しい思いをしても野球を続けたいと  
思うことができたのは応援し支えて  
くれる家族、熱意をもって指導して  
くださる先生方、そしてどんな時で  
も励まし合える仲間がいたからです。  
支えてくださったすべての方々に恩  
返しをする気持ちで全力でプレーし、  
夏の夢舞台で大きな花を咲かせます。  
これからも応援よろしく願ひ致  
します。

三年マネージャー一同

■高校軟式野球部

軟式野球部は、今年で創部から七  
年目を迎えました。創部当初より  
「東海・全国で通じるチームをつ  
くろう!」を合言葉に、選手たちが  
日々練習に励んでくれたおかげで、  
東海大会に七回出場することができ、  
二〇二二年に三重県で開催される国  
体に向けての強化指定校に選出され  
るまでに発展してきました。

東海大会初出場を果たすまでには  
創部から三年半かかり、それからは  
東海大会に出場するものの、いずれ  
も初戦で敗退し悔しい思いをしてき  
ました。しかし、昨年の夏を迎えた  
七回目の東海大会では、岐阜県代表  
恵那高校に五対三で勝利し、東海大  
会でベスト4という結果を収めるこ  
とができました。創部当初より思い  
続けてきた願いを一つ達成し、新た  
な記録を刻めたことを大変嬉しく  
思っています。

新チームになってから迎えた秋季  
大会、春季大会では、東海大会出場  
を逃し、非常に悔しい思いをしまし  
た。三年生にとって最後の大会にな  
る夏季大会は、絶対に東海大会出場  
を果たそうと決心しました。一人一  
人が高い意識で練習に取り組み、技  
術力・精神力を向上させ、さらに、  
数々の強豪高校との練習試合を通し  
て、チーム力を強くするとともに、  
チームの絆を育み、チーム一丸と

なって戦いたいと思います。  
今後の軟式野球部に熱い声援をお  
願ひします。

■高校卓球部

平成二十九年年度三重県高校総体卓  
球競技兼全国総体兼東海総体三重県  
予選が行われました。結果は次の通  
り。

【中勢地区予選】

四月二十三日 津市久居体育館  
男子シングルスはⅢ1倉本昂ほか  
計七名。女子シングルスはⅢ2池田  
海生ほか計十名。男子ダブルスはⅡ  
3土肥慶祐I4溝田雅斗ペアほか計  
四ペア。女子ダブルスはⅢ3駒田華  
Ⅱ5岩間美樹ペアほか計六ペアが予  
選を通過しました。  
なお三重県ランキング上位により、  
男子シングルスはⅢ2阿南皓哉、Ⅲ  
5田中光二、Ⅲ1福井慧人、Ⅱ5石  
城蓮、I4溝田雅斗。女子シングル  
スのⅢ6鈴木海月、Ⅱ4前田絢香。  
男子ダブルスのⅢ2阿南皓哉Ⅲ5田  
中光二ペア、Ⅲ1福井慧人Ⅱ5石城  
蓮ペア。女子ダブルスのⅢ6鈴木海  
月Ⅱ4前田絢香ペアが、予選免除除  
の県大会出場となりました。

【シングルス部の部 三重県予選】

五月三日・五月四日 津市体育館  
男子シングルスは、Ⅲ2阿南皓哉が  
二連覇、Ⅱ5石城蓮が第二位、I4  
溝田雅斗が第三位、Ⅲ5田中光二が  
第四位。女子シングルスは、Ⅲ6鈴  
木海月が第四位で全国総体・東海総  
体の出場権を獲得しました。溝田は  
初出場、石城・田中・鈴木は二年連  
続、阿南は三年連続でのインターハ  
イ出場となりました。

【ダブルスの部 三重県予選】

五月六日 津市体育館  
男子ダブルスは、Ⅲ2阿南皓哉・Ⅲ

5田中光二ペアが優勝。Ⅲ1福井慧  
人・Ⅱ5石城蓮ペアが第二位。女子  
ダブルスはⅢ6鈴木海月・Ⅱ4前田  
絢香ペアが第二位で全国総体・東海  
総体の出場権を獲得しました。

【団体の部 三重県予選】

五月二十七日・二十八日  
三重交通Gスポーツの杜伊勢  
男子団体は三年連続十一回目の優  
勝で全国総体・東海総体、女子団体  
は第二位で東海総体の出場権を得  
ました。

■高校硬式テニス部

東海総体は六月十七日・十八日に  
三重交通Gスポーツの杜伊勢で、全  
国総体は七月二十八日から八月二日  
まで福島県郡山市で開催されます。

硬式テニス部は、県大会において  
上位を目指し日々練習に励んでいま  
す。部員数は今年度は五十名を超え、  
使用できるコート数が少ない環境で  
も、練習内容を工夫しながら取り組  
んでいます。部員の大半は硬式テニ  
スの未経験者ですが、先輩部員に学  
んだり、ある部員は個別にテニスス  
クールに通ったりしてスキルアップ  
に努めています。

部員同士の仲の良さはもちろん、  
時には厳しくお互いを鼓舞し合える  
関係性を保っていることが硬式テニ  
ス部の魅力です。試合中の苦しい局  
面において、最後まで諦めずに戦え  
る精神力は、このような日々の練習  
の中から培われたものだと思います。  
最近の大会結果で言えば、昨年度の  
九月に行われた高校新人大会の団体  
戦において、創部史上初の県ベスト  
8に入賞することができました。格  
上の対戦相手にも関わらず、日々の  
練習を信じ、相手に臆さず、ことな  
く戦えたことがこの結果につながり  
ました。また、今年度に入り、中勢地

区の選手権大会では、男子ダブルスにおいて八位入賞を果たしました。女子に関しては、入賞を果たしては

硬式テニス部はこれからも意欲的に活動して参りたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻とともに、応援を宜しくお願い致します。

顧問 安孫子 玄
■高校ソフトテニス部
先日行われた県総体では三年生が引退し、現在、男子は二年生七名、一年生三名、四年生二名の計十二名、女子は二年生五名、一年生五名の計十名で活動しております。

昨年十一月に行われた新人大会では男子個人でベスト16、男子団体でベスト8を獲得。今年四月の東海総体予選では東海大会出場は逃したものの、男子団体でベスト8を獲得しました。

先日行われた県総体では男子一番手が三重高校の選手に惜しくも敗れ、ベスト64に終わってしまいました。その負けた相手がインターハイ出場を決め、悔しい思いをしました。昨年度県総体でもあと二歩でインターハイというところまで行き、インターハイ出場も夢ではないと感じられました。男子団体戦では二回戦で本本高校との接戦を制し、三回戦で尾鷲高校に敗退。8シードを落とす結果となってしまいました。健闘し、日頃の成果を十分に発揮することができたと思えます。新チームがスタートしましたが、

先輩方が残してくれた伝統を引き継ぎ、よりよいチーム作りを励みたいと思います。OB・OGの皆様、母校に立ち寄られる機会がありましたら、是非、コートまで足を運んでください。引き続き、応援よろしくお願いたします。

■高校陸上競技部
皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。私たち陸上競技部員は四十七名(男子三十二名、女子十五名)で活動しています。陸上競技部の試合で掲げる横断幕には卒業生から贈られた「全力勝負」の言葉があり、大会において選手達はその思いを背負い競技しています。

今シーズンは男子では400mを中心とする短距離メンバーと男子長距離に力のある選手がおり東海・全国大会での活躍を目指しています。女子では競歩と400mハードルで活躍する選手がいます。また、高校から陸上競技を始めた選手も多く、一年後、二年後を見据えて目標をもつてトレーニングに励んでいます。県総体までの結果は以下のとおりですが、まだ今シーズンは始まったばかりで夏から秋にかけての全国大会への出場権を獲得した選手もあり、十月に完成する県営陸上競技場での躍動を期待して頂きたいです。

また、来年は同じ会場で開催される全国高校総体に一人でも多くの選手が出場し、地元で活躍するための準備の一年にもなりたいです。秋の高校駅伝においても三位入賞を目指し東海大会でチーム記録の更新も目指して行きたいです。六年制と三年制の生徒が同じ活動をする事で、互いに刺激し合いながら文武両道のもと充実した学校生活を過ごして頂きます。今年度もご支援、ご声援の程よろしくお願申し上げます。

平成二十九年国体第一次選考競技会
少年男子3000m
第4位 6年a組 野呂 光希
第6位 6年c組 紀平 陸
女子5000m競歩
準優勝 Ⅲ年B組 岩瀬映伊美
第四十七回三重県高等学校陸上競技春季大会
男子1500m
優勝 6年c組 紀平 陸
400m
準優勝 5年c組 丸山 正靖
4x400mリレー
第4位 5年e組 松葉 光
5年c組 丸山 正靖
Ⅱ年2組 浅尾倫太郎
Ⅲ年A組 伊藤 彰真
女子5000m競歩
準優勝 Ⅲ年B組 岩瀬映伊美
400mハードル
第4位 Ⅲ年1組 早川 奈那
第六十七回三重県高等学校総合体育大会陸上競技の部
男子総合の部 第8位
男子トラックの部 第5位
男子1500m
優勝 6年c組 紀平 陸
5000m
第3位 6年c組 紀平 陸
4x400mリレー
第3位 5年e組 松葉 光
Ⅲ年A組 伊藤 彰真
Ⅱ年2組 浅尾倫太郎
5年c組 丸山 正靖
Ⅱ年3組 中島 稜太
Ⅰ年2組 越野 勇斗
3000m障害
第5位 6年a組 野呂 光希
400m
第7位 5年c組 丸山 正靖
8種競技
第7位 5年a組 那須 柁斗

女子5000m競歩
準優勝 Ⅲ年B組 岩瀬映伊美
400mハードル
第8位 Ⅲ年1組 早川 奈那
※6位までに入賞した選手が東海高校総体に出場

■高校水泳部
こんにちは、高校水泳部です。昨年、Ⅲ年生が引退してからは三人という少人数で活動していましたが、たくさんのお新入生が入部し、今は男子八名、女子八名の十六名で活動しています。今は、月、水、金曜日の放課後に皆で陸上トレーニングを行った後、学校のプールや所属するスイミングスクールでの練習に励んでいます。

昨年の県総体では、女子は個人、リレー種目共に東海総体に出場できましたが、男子は個人種目しか出場できませんでした。男女総合成績も上位に入賞することができず、悔しい思いをしたので今年度は日々の活動の中でしっかりとコミュニケーションをとり、皆で声を出し合い、チームを活気づけて今年度は水泳部一丸となって男女総合成績で上位入賞、一人でも多くの選手が東海総体・インターハイに出場、男女共にリレーで東海総体に出場できるよう頑張っていますのでご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

■高校バスケットボール部
バスケットボール部は現在、男子二十三名、女子二十五名で活動しています。男子は地区予選で一勝してさらには県大会に出場することを目標としています。女子は六大会連続で県大会に出場しており、県大会で一回戦、二回戦突破を目指しています。日々の練習では、先輩は後輩にブ

レールについて教え、後輩は先輩を見習ってそれぞれ一人一人が努力して改善点について意見を交換し合うことで、練習の質を高めようとしています。そして、毎日それぞれの練習について気をつけるべき点を教えてくださる顧問の先生の指導のもとで練習に励んでいます。メンバー同士の仲はとても良く、目標に向かって仲間と共に練習に励むという本当に充実した部活動生活を送ることができていると思います。そして、今後もしっかりとした礼儀を身につけつつ、部活動と勉強の両立をしながら、良い結果を残したいと思っています。毎年、夏期休暇、冬期休暇にOB戦をしています。現役メンバーも先輩方とプレーをすることを楽しみにしていますので、先輩方、ぜひ来てください。

■高校バレーボール部
男子バレーボール部は、Ⅲ年生四名、Ⅱ年生五名、Ⅰ年生十二名、マネージャー四名の計二十五名。女子バレーボール部は、Ⅲ年生九名、Ⅱ年生六名、Ⅰ年生五名の計二十名で活動しています。

バレーボール部では、技術や戦術だけでなく、将来に必要な能力も学べます。バレーボールという競技は決して一人で行える競技ではありません。チームの仲間や保護者などたくさんの人の協力・支えがあつて、初めてチームとして成り立ちます。「ONE FOR ALL, ALL FOR ONE」これはラグビーの合言葉ですが、バレーボールにも言えることだと思います。一人はみんなのために、みんなはひとりのために行動する。全員で勝つための一人ひとりが全力で役割を果たす。その気持ちや姿勢が仲間の心を互いに

バレーボール部は、技術や戦術だけでなく、将来に必要な能力も学べます。バレーボールという競技は決して一人で行える競技ではありません。チームの仲間や保護者などたくさんの人の協力・支えがあつて、初めてチームとして成り立ちます。「ONE FOR ALL, ALL FOR ONE」これはラグビーの合言葉ですが、バレーボールにも言えることだと思います。一人はみんなのために、みんなはひとりのために行動する。全員で勝つための一人ひとりが全力で役割を果たす。その気持ちや姿勢が仲間の心を互いに

バレーボール部は、技術や戦術だけでなく、将来に必要な能力も学べます。バレーボールという競技は決して一人で行える競技ではありません。チームの仲間や保護者などたくさんの人の協力・支えがあつて、初めてチームとして成り立ちます。「ONE FOR ALL, ALL FOR ONE」これはラグビーの合言葉ですが、バレーボールにも言えることだと思います。一人はみんなのために、みんなはひとりのために行動する。全員で勝つための一人ひとりが全力で役割を果たす。その気持ちや姿勢が仲間の心を互いに

前に動かし、時には勇気を与えます。苦しいときは、励まし合い、楽しいときは、一緒に楽しみ、どんなときでも感謝の気持ちを忘れずに日々練習に励んでいます。

Ⅲ年生が主体となったチームでは、男女とも試合に勝てない期間が続き、苦しい時間を過ごしました。しかし、この苦しい時間も諦めず、一緒に励まし合い、助け合いながらチームの結束を強めました。その結果、女子バレーボール部では、春季大会において第七位という成績を残すことができました。

この結果に満足せず、常に向上心を持ち、さらに日頃から協力して頂いている方々への恩返しができるよう、男女とも目標としている県ベスト4を目指します。

■高校ハンドボール部

現在ハンドボール部は、三年生が引退し、男子十五名、女子八名で活動しています。

昨年十一月に行われた新人大会では、男子は、予選リーグで海星高校、桑名高校、桑名工業高校に敗れ、決勝トーナメントに進出することができませんでした。女子は、予選リーグで上野高校、四日市高校に勝ち、川越高校に敗れ、決勝トーナメントに進出しましたが、決勝トーナメントで四日市西高校に敗れました。

昨年十二月に行われた選抜大会では、男子は、予選トーナメントで川越に敗れました。女子は、予選トーナメントで四日市高校に勝ったのですが、予選トーナメント決勝で四日市西高校に敗れました。

先日行われた県総体では、男子は、桑名工業高校に、女子は、津西高校に敗れました。試合に敗れはしましたが、男女とも健闘し、日頃の成果を十分に発揮することができました。卒業生の皆様、もし時間を作った

いただくことができたら、是非、高田高校グラウンドまで足を運んでいただきたいと思います。

■高校サッカー部

高田高校サッカー部は、今年度で創部二十四年目を迎えることになりました。先日の県総体予選にて宇治山田高校に敗戦し、三年生二十二名が引退しました。現在、二年生十八名、一年生十八名の計三十六名で活動しています。今年度は女子部員も募集し、高校一年生から三年生までの計十三名が集まり、五月の県総体予選に参加しました。結果は初戦敗退になりましたが、新しい歴史がスタートし、よりいっそう選手たちは活気に溢れてきました。女子部員たちは二年前に完成した多目的グラウンド短大女子サッカー部員と同じ環境下で日々活動しています。生徒達も思われた環境の中で、日々一生懸命ボールを追いかけて、汗をかき、充実した学校生活を送ることができています。

昨年度、男子サッカー部は三重県サッカーリーグ二部リーグにて結果を残すことができず、今年度は三部リーグでのスタートとなります。初心に返り、部員達もまずは「二部リーグ昇格」を目標にしています。現部員達は先輩たちの残してくれた伝統を大切に受け継ぎながら、新たな記録を築き上げるため、チーム一丸となり、練習に励んでいます。今後、男女共に好成績を残していけるよう指導に励んでいきたいと感じています。

本学サッカー部は、誰からも応援されるチームになるため、チームの一員として何事も全力で勝ちにいく闘う姿勢、他者を思いやり感謝する気持ち、そして生涯サッカーを愛し続ける気持ちを大切にしながら、「全員サッカー」を発揮できるチーム作

第67回三重県高等学校総合体育大会入賞  
東海大会・全国大会出場一覧表

平成29年5月26日(金)～5月28日(日)

部名	競技	年組	氏名	成績	東海	全国	
なぎなた部	女子個人	6b	吉田のぞみ	優勝	○	○	
		4d	中尾桜子	3位	○		
		4a	長田梨奈	4位	○		
		4b	直脇千尋	5位	○		
		4d	B直脇千尋	7位	○		
	演技	4b	吉田のぞみ	3位	○		
		4b	直脇千尋	4位	○		
		4a	佐藤梨奈	4位	○		
		4a	長田梨奈	4位	○		
		4a	長田梨奈	4位	○		
ソフトボール部	団体			5位			
	男子1500m	6C	紀平陸	優勝	○		
陸上競技部	女子5000m競歩	III B	岩瀬映伊美	準優勝	○		
	男子5000m	6C	紀平陸	3位	○		
	男子4×400mリレー	5e	松葉光真	3位	○		
		III A	伊藤彰真				
		II 2	浅尾倫朗				
		5C	丸山正靖				
		II 1	中島稜太				
	男子3000m障害	6a	野呂光希	5位	○		
	男子4000m	5c	丸山正靖	7位			
	男子八種競技	5a	那須柁斗	7位			
	女子400mハードル	III 1	早川那	8位			
	男子トラックの部			5位			
	男子総合の部			8位			
	柔道部	男子団体			5位		
		男子個人	II B	坂口春太郎	5位		
男子個人		II 5	伊藤良真	5位			
男子個人		II 3	中川創太	5位			
バドミントン部	男子団体	I 5	河島葵	3位			
		III 1	廣瀬大真				
		III A	坂井舜平				
		III 1	小磯隼也				
		III 2	磯山健吾				
	III 3	青野拓	5位				
	III 6	中川怜					
	III A	楠井祐輝					
	III E	松谷優希					
	II 1	西田真希					
	女子団体	III 3	西井原あみ	5位			
		III 5	市川沙耶				
		III 3	村川遥香				
		III B	市川遥香				
		III B	南陽智未				
III 3		西川智未					
II A		柴山未空					
I 1		津田灯香					
I 1		西廣華那					
I B		山田果鈴					

部名	競技	年組	氏名	成績	東海	全国
卓球部	男子シングルス	III 2	阿南皓哉	優勝	○	○
		II 5	石城雅光	2位	○	○
		I 4	溝田斗	3位	○	○
	女子シングルス	III 5	中木海月	4位	○	○
		III 6	鈴木皓哉	4位	○	○
		III 2	阿南皓哉	優勝	○	○
	男子ダブルス	III 5	福井慧二人	2位	○	○
		II 5	石城雅光	2位	○	○
	女子ダブルス	III 6	鈴木海月香	2位	○	○
		II 4	阿南皓哉	優勝	○	○
		III 2	阿南皓哉			
		III 5	田中光慧			
		III 1	福井慧			
		III 1	倉本林恒			
		III 2	濱城慶祐			
II 5		石土肥				
II 3		土肥慶祐				
I 4		溝田斗				
I 2	郡司大紀					
女子団体	I 6	薄井陸帆	2位	○		
	III 6	鈴木海月				
	III 3	駒田華生				
	III 2	池田海				
	III 1	梅田若奈				
	II 4	前長江香				
	II 2	元里香				
	II 5	松元美樹				
	II 5	岩間美樹				
	II A	吉川琴音				
新体操部	男子団体	I 1	村井結衣	優勝	○	
		I 1	村井結衣			
		I 1	村井結衣			
		I 1	村井結衣			
		I 1	村井結衣			
	男子団体	6d	豊田幸樹	優勝	○	
		6d	堀裕貴			
		6e	米津慶			
		II 3	青木陽彦			
		5a	福森敦哉			
なぎなた部	男子団体	5d	河藤貴高	優勝	○	○
		5d	藤堂高			
		5d	西田空			
		6a	中道観			
		6a	高林菜			
	男子団体	6b	吉田のぞみ	優勝	○	○
		6b	吉田のぞみ			
		6d	安井理緒			
		6d	佐藤千尋			
		4d	中直			

りを目指しています。高田高校の一員としての誇りを持ち、いつその努力を忘れず、部員指導者共々日々精進していきますので、今後ともご支援ご協力よろしく願います。

■高校なぎなた部

現在、部員は女子十一名。少数ですが、活発に活動しています。昨年、全国中学生大会で団体三位に入賞したメンバーが新一年生となり、部内での正選手争いが激化しており、日々互いに刺激しあい、稽古に励んでいます。その影響か、GWに行われた恒産杯では三年ぶりに優勝を果たし、先日行われた県総体では、個人・団体の部で優勝、二年連続のインターハイ出場を決めました。現三年生は一年次からレギュラーで出場経験を積んだメンバーが多く、その経験を活かして、今年こそ全国の舞台で成果をあげたいと考えています。六月に久居体育館で行われる東海総体には団体、個人女子五名、演技二組が出場しますが、まずは全国制覇への足がかりとして、選抜大会で入賞している東海学園や大垣商業高校といった強敵を撃破して団体で連覇を果たし、昨年獲得した総合優勝旗を再び持ち帰り、インターハイでは更に大きい優勝旗を掲げたいと思います。

(主な戦績)

- ・平成二十八年度東海高等学校総合体育大会(平成二十八年六月岐阜県大垣商業高校)
- 団体の部 優勝
- 女子個人の部 三位 安井理緒
- ・平成二十八年国民体育大会なぎなた競技
- 三重県代表選手 吉田のぞみ



・平成二十八年度全国高等学校選抜なぎなた大会(平成二十九年三月伊丹市)

団体の部出場

吉田のぞみ・安井理緒  
中道観月・佐脇千尋  
高林陽菜

・第五回恒産杯なぎなた大会(平成二十九年五月大阪府松原体育館)

団体の部 優勝

吉田のぞみ・安井理緒  
佐脇千尋・中尾桜子  
直田李穂

・平成二十九年度三重県高等学校総合体育大会(平成二十九年五月皇学館高校)

女子個人の部 優勝

吉田のぞみ  
演技の部 3位  
吉田のぞみ・直田李穂組

・平成二十八年度東海高等学校総合体育大会(平成二十八年六月岐阜県大垣商業高校)

団体の部 優勝

中道観月・安井理緒  
吉田のぞみ・高林陽菜  
佐脇千尋・中尾桜子  
直田李穂

・平成二十八年度東海高等学校総合体育大会(平成二十八年六月岐阜県大垣商業高校)

団体の部 優勝

中道観月・安井理緒  
吉田のぞみ・高林陽菜  
佐脇千尋・中尾桜子  
直田李穂

・平成二十八年度東海高等学校総合体育大会(平成二十八年六月岐阜県大垣商業高校)

日々の練習に取り組んでいます。また、土日や祝日にはOBの先輩やコーチの方に来ていただいて、ノックやゲーム練習を中心に指導をしていただいています。

■高校バドミントン部

私たち高校バドミントン部は、男子二十六人、女子十九人の計四十五人で活動しています。普段は高田短期大学の体育館を借りて活動していますが、高田短期大学の体育館を借りることができないときは外部の体育館を借りて練習しています。練習内容はバドミントンの基本となるフットワークや身体トレーニング、技術向上のための練習そして応用のパターン練習からゲーム練習まで幅広く行っています。そして、大会のときに力を発揮できるように強い精神力を身に付けるため、それぞれが自分自身を追い込み、

日々の練習に取り組んでいます。また、土日や祝日にはOBの先輩やコーチの方に来ていただいて、ノックやゲーム練習を中心に指導をしていただいています。

個人戦においても団体戦においても「全員で戦い、全員で勝つ」という気持ちで大会に臨んでいます。そのために日頃から声を出し合い、互いに励まし合い、全員が良きライバルとして存在することによって切磋琢磨し、一人ひとりのレベルアップと共にクラブ全体のレベルアップへと繋がるよう努力しています。

・平成二十八年度東海高等学校総合体育大会(平成二十八年六月岐阜県大垣商業高校)

・平成二十八年度東海高等学校総合体育大会(平成二十八年六月岐阜県大垣商業高校)

・平成二十八年度東海高等学校総合体育大会(平成二十八年六月岐阜県大垣商業高校)

・平成二十八年度東海高等学校総合体育大会(平成二十八年六月岐阜県大垣商業高校)

・平成二十八年度東海高等学校総合体育大会(平成二十八年六月岐阜県大垣商業高校)

・平成二十八年度東海高等学校総合体育大会(平成二十八年六月岐阜県大垣商業高校)

・平成二十八年度東海高等学校総合体育大会(平成二十八年六月岐阜県大垣商業高校)

・平成二十八年度東海高等学校総合体育大会(平成二十八年六月岐阜県大垣商業高校)

心で創り上げる初めての舞台であり、曲の編集や、振りつけ、衣装など一から自分達で考えなければならず、戸惑うことばかりでした。何度も意見が食い違うことがありましたが、その度に皆で話し合い、より良い舞台を創り上げることができました。そのため、みんなで創り上げた舞台という感覚が強く、部員同士の絆も深まり、仲間を信じ、共に協力することの大切さや、皆で一つの目標に向かって励むことの楽しさを実感しました。また自分達がまとめる立場に立つたことで、先輩方の苦悩を知ることができました。教え方や褒め方、注意の仕方など普段考えないようなことを考えるきっかけとなりました。

■高校応援団

今年度は、初めて、十月に新設されるサオリーナで、他校の方々と共に、バトンの披露する予定です。バトンやダンスの技術を磨くだけでなく、挨拶などの礼儀を身につけていきたいです。三年生はあと二カ月で引退ですが、今のメンバーで、悔いのないよう、精一杯取り組んでいこうと思います。

今年度は、初めて、十月に新設されるサオリーナで、他校の方々と共に、バトンやダンスの技術を磨くだけでなく、挨拶などの礼儀を身につけていきたいです。三年生はあと二カ月で引退ですが、今のメンバーで、悔いのないよう、精一杯取り組んでいこうと思います。

今年度は、初めて、十月に新設されるサオリーナで、他校の方々と共に、バトンやダンスの技術を磨くだけでなく、挨拶などの礼儀を身につけていきたいです。三年生はあと二カ月で引退ですが、今のメンバーで、悔いのないよう、精一杯取り組んでいこうと思います。

今年度は、初めて、十月に新設されるサオリーナで、他校の方々と共に、バトンやダンスの技術を磨くだけでなく、挨拶などの礼儀を身につけていきたいです。三年生はあと二カ月で引退ですが、今のメンバーで、悔いのないよう、精一杯取り組んでいこうと思います。

今年度は、初めて、十月に新設されるサオリーナで、他校の方々と共に、バトンやダンスの技術を磨くだけでなく、挨拶などの礼儀を身につけていきたいです。三年生はあと二カ月で引退ですが、今のメンバーで、悔いのないよう、精一杯取り組んでいこうと思います。

今年度は、初めて、十月に新設されるサオリーナで、他校の方々と共に、バトンやダンスの技術を磨くだけでなく、挨拶などの礼儀を身につけていきたいです。三年生はあと二カ月で引退ですが、今のメンバーで、悔いのないよう、精一杯取り組んでいこうと思います。

今年度は、初めて、十月に新設されるサオリーナで、他校の方々と共に、バトンやダンスの技術を磨くだけでなく、挨拶などの礼儀を身につけていきたいです。三年生はあと二カ月で引退ですが、今のメンバーで、悔いのないよう、精一杯取り組んでいこうと思います。

今年度は、初めて、十月に新設されるサオリーナで、他校の方々と共に、バトンやダンスの技術を磨くだけでなく、挨拶などの礼儀を身につけていきたいです。三年生はあと二カ月で引退ですが、今のメンバーで、悔いのないよう、精一杯取り組んでいこうと思います。

今年度は、初めて、十月に新設されるサオリーナで、他校の方々と共に、バトンやダンスの技術を磨くだけでなく、挨拶などの礼儀を身につけていきたいです。三年生はあと二カ月で引退ですが、今のメンバーで、悔いのないよう、精一杯取り組んでいこうと思います。

今年度は、初めて、十月に新設されるサオリーナで、他校の方々と共に、バトンやダンスの技術を磨くだけでなく、挨拶などの礼儀を身につけていきたいです。三年生はあと二カ月で引退ですが、今のメンバーで、悔いのないよう、精一杯取り組んでいこうと思います。

今年度は、初めて、十月に新設されるサオリーナで、他校の方々と共に、バトンやダンスの技術を磨くだけでなく、挨拶などの礼儀を身につけていきたいです。三年生はあと二カ月で引退ですが、今のメンバーで、悔いのないよう、精一杯取り組んでいこうと思います。

い。」などそれぞれの思いをぶつけてくれました。活動は、まだまだ夏の甲子園を目指す野球部の応援と限定されていますが、精一杯のパフォーマンスを目指したいと思います。今年の球場のスタンドでは、吹奏楽部やバトン部と共に少し増員した応援団の動きを見ていただけるのではないのでしょうか。

■高校放送部

放送部は、平成二十八年度第六十三回NHK杯全国高校放送コンテスト三重県大会で、テレビドキュメント部門で「ゼロ」から挑戦するということが最優秀賞、ラジオドキュメント部門で「脱ゲム」が最優秀賞、研究発表部門で「外売りの必要性」が奨励賞を受賞しました。また、アナウンス部門で四年生の宇野夏未さんが優秀賞、朗読部門で三年生の油野友香と二年生の西村侑紀さんがそれぞれ優秀賞を受賞。そして、第六十三回NHK杯全国高校放送コンテスト(全国大会)へ出場しました。また、第四十回全国高等学校総合文化祭広島大会に、アナウンス小部門と朗読小部門にそれぞれ出場しました。このように、昨年度も例年に引き続き、県大会や全国大会で多くの成果を上げることができました。

放送部は、平成二十八年度第六十三回NHK杯全国高校放送コンテスト三重県大会で、テレビドキュメント部門で「ゼロ」から挑戦するということが最優秀賞、ラジオドキュメント部門で「脱ゲム」が最優秀賞、研究発表部門で「外売りの必要性」が奨励賞を受賞しました。また、アナウンス部門で四年生の宇野夏未さんが優秀賞、朗読部門で三年生の油野友香と二年生の西村侑紀さんがそれぞれ優秀賞を受賞。そして、第六十三回NHK杯全国高校放送コンテスト(全国大会)へ出場しました。また、第四十回全国高等学校総合文化祭広島大会に、アナウンス小部門と朗読小部門にそれぞれ出場しました。このように、昨年度も例年に引き続き、県大会や全国大会で多くの成果を上げることができました。

放送部は、平成二十八年度第六十三回NHK杯全国高校放送コンテスト三重県大会で、テレビドキュメント部門で「ゼロ」から挑戦するということが最優秀賞、ラジオドキュメント部門で「脱ゲム」が最優秀賞、研究発表部門で「外売りの必要性」が奨励賞を受賞しました。また、アナウンス部門で四年生の宇野夏未さんが優秀賞、朗読部門で三年生の油野友香と二年生の西村侑紀さんがそれぞれ優秀賞を受賞。そして、第六十三回NHK杯全国高校放送コンテスト(全国大会)へ出場しました。また、第四十回全国高等学校総合文化祭広島大会に、アナウンス小部門と朗読小部門にそれぞれ出場しました。このように、昨年度も例年に引き続き、県大会や全国大会で多くの成果を上げることができました。

放送部は、平成二十八年度第六十三回NHK杯全国高校放送コンテスト三重県大会で、テレビドキュメント部門で「ゼロ」から挑戦するということが最優秀賞、ラジオドキュメント部門で「脱ゲム」が最優秀賞、研究発表部門で「外売りの必要性」が奨励賞を受賞しました。また、アナウンス部門で四年生の宇野夏未さんが優秀賞、朗読部門で三年生の油野友香と二年生の西村侑紀さんがそれぞれ優秀賞を受賞。そして、第六十三回NHK杯全国高校放送コンテスト(全国大会)へ出場しました。また、第四十回全国高等学校総合文化祭広島大会に、アナウンス小部門と朗読小部門にそれぞれ出場しました。このように、昨年度も例年に引き続き、県大会や全国大会で多くの成果を上げることができました。

放送部は、平成二十八年度第六十三回NHK杯全国高校放送コンテスト三重県大会で、テレビドキュメント部門で「ゼロ」から挑戦するということが最優秀賞、ラジオドキュメント部門で「脱ゲム」が最優秀賞、研究発表部門で「外売りの必要性」が奨励賞を受賞しました。また、アナウンス部門で四年生の宇野夏未さんが優秀賞、朗読部門で三年生の油野友香と二年生の西村侑紀さんがそれぞれ優秀賞を受賞。そして、第六十三回NHK杯全国高校放送コンテスト(全国大会)へ出場しました。また、第四十回全国高等学校総合文化祭広島大会に、アナウンス小部門と朗読小部門にそれぞれ出場しました。このように、昨年度も例年に引き続き、県大会や全国大会で多くの成果を上げることができました。

放送部は、平成二十八年度第六十三回NHK杯全国高校放送コンテスト三重県大会で、テレビドキュメント部門で「ゼロ」から挑戦するということが最優秀賞、ラジオドキュメント部門で「脱ゲム」が最優秀賞、研究発表部門で「外売りの必要性」が奨励賞を受賞しました。また、アナウンス部門で四年生の宇野夏未さんが優秀賞、朗読部門で三年生の油野友香と二年生の西村侑紀さんがそれぞれ優秀賞を受賞。そして、第六十三回NHK杯全国高校放送コンテスト(全国大会)へ出場しました。また、第四十回全国高等学校総合文化祭広島大会に、アナウンス小部門と朗読小部門にそれぞれ出場しました。このように、昨年度も例年に引き続き、県大会や全国大会で多くの成果を上げることができました。

放送部は、平成二十八年度第六十三回NHK杯全国高校放送コンテスト三重県大会で、テレビドキュメント部門で「ゼロ」から挑戦するということが最優秀賞、ラジオドキュメント部門で「脱ゲム」が最優秀賞、研究発表部門で「外売りの必要性」が奨励賞を受賞しました。また、アナウンス部門で四年生の宇野夏未さんが優秀賞、朗読部門で三年生の油野友香と二年生の西村侑紀さんがそれぞれ優秀賞を受賞。そして、第六十三回NHK杯全国高校放送コンテスト(全国大会)へ出場しました。また、第四十回全国高等学校総合文化祭広島大会に、アナウンス小部門と朗読小部門にそれぞれ出場しました。このように、昨年度も例年に引き続き、県大会や全国大会で多くの成果を上げることができました。

放送部は、平成二十八年度第六十三回NHK杯全国高校放送コンテスト三重県大会で、テレビドキュメント部門で「ゼロ」から挑戦するということが最優秀賞、ラジオドキュメント部門で「脱ゲム」が最優秀賞、研究発表部門で「外売りの必要性」が奨励賞を受賞しました。また、アナウンス部門で四年生の宇野夏未さんが優秀賞、朗読部門で三年生の油野友香と二年生の西村侑紀さんがそれぞれ優秀賞を受賞。そして、第六十三回NHK杯全国高校放送コンテスト(全国大会)へ出場しました。また、第四十回全国高等学校総合文化祭広島大会に、アナウンス小部門と朗読小部門にそれぞれ出場しました。このように、昨年度も例年に引き続き、県大会や全国大会で多くの成果を上げることができました。

放送部は、平成二十八年度第六十三回NHK杯全国高校放送コンテスト三重県大会で、テレビドキュメント部門で「ゼロ」から挑戦するということが最優秀賞、ラジオドキュメント部門で「脱ゲム」が最優秀賞、研究発表部門で「外売りの必要性」が奨励賞を受賞しました。また、アナウンス部門で四年生の宇野夏未さんが優秀賞、朗読部門で三年生の油野友香と二年生の西村侑紀さんがそれぞれ優秀賞を受賞。そして、第六十三回NHK杯全国高校放送コンテスト(全国大会)へ出場しました。また、第四十回全国高等学校総合文化祭広島大会に、アナウンス小部門と朗読小部門にそれぞれ出場しました。このように、昨年度も例年に引き続き、県大会や全国大会で多くの成果を上げることができました。

放送部は、平成二十八年度第六十三回NHK杯全国高校放送コンテスト三重県大会で、テレビドキュメント部門で「ゼロ」から挑戦するということが最優秀賞、ラジオドキュメント部門で「脱ゲム」が最優秀賞、研究発表部門で「外売りの必要性」が奨励賞を受賞しました。また、アナウンス部門で四年生の宇野夏未さんが優秀賞、朗読部門で三年生の油野友香と二年生の西村侑紀さんがそれぞれ優秀賞を受賞。そして、第六十三回NHK杯全国高校放送コンテスト(全国大会)へ出場しました。また、第四十回全国高等学校総合文化祭広島大会に、アナウンス小部門と朗読小部門にそれぞれ出場しました。このように、昨年度も例年に引き続き、県大会や全国大会で多くの成果を上げることができました。

放送部は、平成二十八年度第六十三回NHK杯全国高校放送コンテスト三重県大会で、テレビドキュメント部門で「ゼロ」から挑戦するということが最優秀賞、ラジオドキュメント部門で「脱ゲム」が最優秀賞、研究発表部門で「外売りの必要性」が奨励賞を受賞しました。また、アナウンス部門で四年生の宇野夏未さんが優秀賞、朗読部門で三年生の油野友香と二年生の西村侑紀さんがそれぞれ優秀賞を受賞。そして、第六十三回NHK杯全国高校放送コンテスト(全国大会)へ出場しました。また、第四十回全国高等学校総合文化祭広島大会に、アナウンス小部門と朗読小部門にそれぞれ出場しました。このように、昨年度も例年に引き続き、県大会や全国大会で多くの成果を上げることができました。

体育祭や文化祭、ダンス発表会などの学校行事や生徒会行事でも準備や運営、記録映像の撮影、学校見学会や学校紹介に使用するビデオ作品の制作にかかわっています。

部員それぞれがアナウンスや朗読を通して、自己の表現力の向上や伝えることや話すこと、番組制作での取材や編集を通して、人とかかわり協力し、コミュニケーション能力や企画力を向上させています。このように、放送部は部員が協力しながらそれぞれの活動を支えあっています。

樹心同窓会をはじめ、すべてのお世話になった方々への感謝の気持ちを忘れず、この良き伝統を受け継いで、さらに発展していく努力を続けていきます。

■高校演劇部

演劇部の最近の活動についてご報告申し上げます。

昨年度は、夏に行われた地区大会で優秀賞を受賞し、県大会に進出。県大会で優秀賞、三重県教育委員会賞をいただき、兵庫県神戸市で行われた近畿高等学校総合文化祭に出場することができました。また、中部日本高等学校演劇大会が三重県で行われ、愛知・岐阜・三重・福井・石川・富山から選ばれた代表校の、多種多様なお芝居を観劇しました。運営担当としても、演劇部員はよく動いてくれました。

それ以外にも、五月のアトリエ公演(新入部員をまじえた公演)、九月の文化祭公演、十月の新人公演、十二月の冬公演などの公演を企画し、三月末に行われた春大会では金賞を受賞しました。こちらのみならずのお力添えがあつてのことと存じます。この場を借りて御礼申し上げます。つい先日、本校演劇部が全国大会(長崎大会)に出場した模様が収められている「青春舞台二〇一三」

の再放送がEテレでありました。二〇一三年なんてつい最近のことだ、と思っていたのですが、そのときのメンバーはもちろん、彼らが三年生のときに一年生として入ってきた、すなわち彼らと一緒に部活動を行っていたメンバーも、全員卒業してしまつたことに気づきました。そう思うと隔世の感もあります。

現在は、七月二十八日(金)(三十日(日))に行われる、夏の地区大会に向けて、稽古を続けています。八月九日(水)十(木)は県大会です。夏は演劇のシーズンです。地区大会は津市白山総合文化センターしらすぎホール、県大会は三重県総合文化センター 中ホールで行われます。是非部員たちの熱い姿を観に、劇場に足を運んで頂けるとありがたいです。

■高校家庭部

家庭部に入学してからの三年間、料理をすることの楽しさがあります。分かるようになりまし。入部したてのときは、集団で調理することに戸惑っていました。しかし、今ではメンバーがいないと、寂しいと思うくらいになりました。みんなで調理をすることで、自然と会話が増え、同じ食べ物共有することで、より親しくなれるということに気づきました。

私達は、週に二回の部活で主にパウンドケーキやシフォンケーキなどを作っており、学校見学会ではケーキの試食してもらい、文化祭や寺内町祭り、バレンタインなどの行事では自分たちの考えたお菓子や料理の発表をしています。

三年生は今、卒業制作に取り組んでいます。細かく、かわいらしいお菓子を作り、今までの経験を活かし、レシビにアレンジを加えたりして、自分達らしい作品を作っています。

す。一、二年生は、上記のイベントを成功させるために、テキパキと目標にむかって充実した部活動をしています。

どのレシビも、頭だけで考えているアレンジが最初から上手くできるのは、ごく希です。なので、自分達らしさをお菓子に出すために、みんなで失敗した原因を探り、意見交換をし、先生方にもアドバイスをいただきながら、何度も試作をし、完成させたからこそ、周りの人に喜んでもらえると思います。これからも、様々な壁に直面すると思いますが、いつもの部活動を通して学んだ事を実践し、みんなで、何でも挑戦してみろという姿勢で、前進していきたくです。

■高校仏青インターアクト部

III年C組 26席 吉田 京加

私たち仏青インターアクト部は、III・六年十一人、II・五年十三人、I・四年生25人で楽しく活動しています。活動内容は、仏教行事のお手伝い、高田本山諸行事のお手伝い、災害などの支援募金、障がい者支援、老人ホームの慰問と清掃、津市教育委員会主催歴史まるごと体験塾の手伝い、安濃津福祉学童保育の手伝い、高等学校文化連盟ボランティア部門でのボランティア活動、インターアクト活動などや一身田寺内町、一身田駅の周りの清掃美化活動、学校内での花の植え替えなどを行っています。

昨年の一番大きな行事は、十一月六日(日)に高田高校で行われた津北ロータリークラブと高田高校仏青インターアクト部が主催した「三重県インターアクト協議会」でした。

数ヶ月前から、部員全員で何を企画したら楽しんでもらえるのか、何の活動報告をするのかなどを考え、準備し、顧問の先生方をはじめ、たくさん先生方や一身田寺内町のガイ

ドの方々協力して頂き、成功することができました。特に大変だったのは、一身田寺内町を紹介する企画です。どのようにしたら楽しめ、寺内町を伝えることができるのかを考え、正解をしたらスタンプを押す、スタンプラリーをしました。寺内町のガイドの方々にもアドバイスをもらいながら問題を考えるなど準備は大変でしたが、終わったときは成功して達成感を感じることができとても嬉しかったです。

今年は大々さんのI・四年生が入部してくれたので、清掃活動をもっと積極的に、学校内をはじめ一身田寺内町の美化を先生方の協力も頂きながら頑張っていきたいと思っています。

■高校将棋部

四月三十日に行われた第五十三回全国高等学校将棋選手権大会三重県予選において、高田高校は男子団体戦、女子団体戦で優勝し、宮城県で行われる全国大会への出場権を獲得しました。

将棋部は、放課後二時間ほどの練習を毎日行っています。中学生、高校生との練習を行い、対局後についてはお互いの良かったところや、悪かったところなどを確認しながら試合で勝つことを目標に練習に励んでいます。今年度は女子部員の人数が増え、中学、高校合わせて十三名所属しており、基本から熱心に学んでいます。

また、土日には他の学校の生徒たちと練習試合を行うなど、棋力の向上に向け努力を重ねています。

国際交流委員会  
第二十三回  
オーストラリア交換留学

若林 広 繁

三月十七日から三月三十一日までの十五日間、二十三回目となるオーストラリア交換留学プログラムに本校教員四名と生徒三十三名が参加しました。尾市先生と眞弓先生は生徒十四名とセントモニカ校、川端先生と眞田先生は生徒十九名とパレードでの研修となりました。

十七日早朝になぎさまちを出発し、セントレア空港からシンガポールのチャンギ空港へ乗り換えて、十八日の朝にメルボルンに到着しました。メルボルン空港には両校の先生方にお出迎えをいただき、空港から両校へはバスで移動をしました。各校でホストファミリーとの対面後、教員もそれぞれホストの先生と3連休を過ごしました。私は昨年このプログラムに参加させていただき、非常に貴重な文化交流をさせていただきました。

今回のプログラム内容は昨年と同じように、セントモニカ校、パレード校は共通してサーフィン実習やヒールズサンクチュアリ、ソプリンヒルでの金の精錬実演見学等、お馴染みの研修に生徒達も有意義な研修となりました。パレード校の初日には、まず入学式を行いました。大勢の生徒たちの前でのスピーチを行った本校代表生徒は、緊張しながらも堂々と英語での挨拶にオーストラリアの先生方も感激されました。入学式後、本校生徒たちはパレード校の生徒たちにグループ別で校内案



内をしていただき、時よりオーストラリア生徒が日本語で校内を案内し、交流は仲良く行われました。その後はマグカップ作成し、美術の授業見学を行い、タズマニアンデザイナーの説明を英語で受け、オーストラリアの文化を学びました。午後はパレード生徒の日本語授業に参加し、本校生徒たちも英語を用いて、日本文化を説明しました。セントモニカ校でも初日には入校式が行われました。生徒代表の英語によるスピーチをはじめ、モーニングティーによる生徒達も交えたウェルカムパーティーが行われ、九月にホームステイで交流した生徒同士も多く参加してらっていたこともあり、非常に和やかで楽しく過ごすことができていたようです。

サーフィン実習では両校参加した生徒全員が約一時間のサーフィン実習にチャレンジし、初めての波乗りにも成功しました。人生初のサーフィンに挑戦した生徒達も多く、オーストラリアの自然の中で、マリンスポーツを楽しみました。

六日目、パレード校はシテイランブルというメルボルン市内での班別研修を行いました。

メルボルン市内の町をグルーブごとに散策し、初めて見る光景に生徒達も興奮していたようです。また、セントモニカ校では、ダンス実習にオーストラリア生とともに参加し、身体を動かしながらアクティブに交流し、有意義な時間を過ごしました。お別れ会では、お互いの国のダンスや歌を披露し、笑いあり涙ありの会になりました。いよいよ、ホストファミリーとお別れの日となり、寂しさ溢れる生徒たちの中には涙を流し、別れを惜しむ姿を見て、引率の先生

方は長く続いてきたこのプログラムに参加した生徒達にとって有意義な交流となっていたことを実感したようです。

このプログラムは今回で二十三回目を終え、本当に長く交流が続いている理由には、高田学苑とオーストラリア両校との強い信頼関係と絆を感じます。国を越えた人と人とのつながりは言葉だけでなく、おもてなしや思いやりの心が大きく影響しており、毎年このプログラムに関わる人たちが増え続けていくことが将来多くの人たちがグローバルに活躍していくことに繋がると期待しています。今回のプログラムに多大な尽力を賜った皆様をはじめ、このプログラムを立ち上げ、ここまで素晴らしい交流プログラムに築き上げてきていただいたすべての方々に厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。



### 短大だより

#### 昨年度の進路状況について

キャリア支援センター  
平成28年度卒業生の3月末現在の進路状況について報告します。

全体としましては、卒業生229名(昨年218名)に対して、就職希望者223名(同211名)、就職決定者222名(同210名)、未内定者1名(同2名)、進学者3名(同1名)、家事等従事者が3名(同6名)となり、就職率は99.6%(同99.1%)という結果でした。また、県外への就職は10名で県内就職率は

95%と高率を維持しています。学科別では、子ども学科卒業生162名(昨年141名)のうち、幼稚園18名(同15名)、保育園96名(同101名)、こども園24名(同7名)、児童養護施設等12名(同6名)、社会福祉施設等4名(同4名)、一般企業4名(同6名)でした。進学は3名(同0名)、家事等は1名(同2名)で就職率は例年通り100%となり、専門職としての就職者は全体の96%を占めています。また、市町公務員試験(保育士・幼稚園教諭)には11名(同12名)が合格し、35名(同29名)が臨時等職員として就職しています。今年の特徴として、県内各園がこども園化し始めたことや、昨今の子どもの状況が踏まえてか児童養護施設への関心が高まったこと等の影響が窺えます。

キャリア育成学科オフィスワークコースでは50名(同60名)が卒業し、卸・小売業21名(同20名)、サービス業8名(同10名)、金融・保険6名(同4名)、医療・福祉5名(同5名)、製造3名(同9名)、運輸・情報通信3名(同4名)、建設1名(同2名)の47名(同55名)が一般企業に就職しました。また、公務員が1名(同1名)、家事等は1名(同2名)、進学はなし(同1名)、未内定1名(同2名)となりました。今年、例年に増して、人気の銀行や自動車販売業等に就職が決まるなど、順調に活動を進めることができました。

同学科介護福祉コースでは、卒業した17名(同17名)のうち、老人介護施設に14名(同15名)、一般企業に2名(同0名)が就職し、家事等が1名(同2名)でした。今年就職者の中には、ネパール人留学生1名がいます。昨年11月、出入国管理法

が改正され介護ビザが創設されたことに伴い、今後は外国人留学生の就労の開拓を進める必要があります。求人状況については、平成28年度の子どもの学科には1,021人(同960人)、オフィスワークコースには1,129人(同753人)、介護福祉コースには653人(同764人)の求人があり、所謂「売り手市場」の状況が続いています。全国的な傾向とはいえ、これも樹心同窓会のみならず関係者の方々のおかげと深く感謝いたしております。今後とも、ご支援、ご鞭撻のほど、よろしく願います。

短大が、開学五十周年の  
記念の年  
北端 一子

今年中学に入学した孫は、小さい頃、子ども茶碗でも多すぎて、どうしたら食べられるようになるか心配していたが、今では、ごはんが大好きで、どんぶり茶碗になって、おかわりもするそうです。身体も大きくなり、背の高い父親も越え「背比べしよう」と言って、背が伸びたことに喜んでいました。早いものですね。自分の背が段々低くなっていくことに、自分の年齢を改めて再確認することにしました。

短大部会ですが、第一回の役員会を予定通り四月二十七日に開催しました。理事に報告する書類の検討と写真の添付について話し合いました。また、高短祭が十月二十一日と二十二日に予定しています。同窓会としてバザーをする日は、二十一日(土曜日)です。今回から、新しく

加入した理事にも手伝わってもらうことを決めました。バザーの活性化とともに、高短祭がにぎやかになることを祈って決めました。

バザーに来ていただく客層が、年齢の高い方が多いように思うので、若い方にも、立ち止まってゆっくり見ていただけるのではないかと思います。また、バザーの品物が増えることも期待しています。バザーをする時間は、午前中だけなので時間は短いです。期待して来ていただく方も見えるので、十分に対応できるように品数を増やしたいと思っています。ぜひ皆さんの協力をお願いします。

役員会で、最近の乳幼児教育についての現状についても話し合いをしました。幼稚園が統合され、こども園のこと、延長保育、未就園児についてなど、課題が多いことばかりですが、どうすればいいかなど結論が出ません。しかし、役員の中には現職の方がいるので、一つ一つ課題を話し合う中で何か参考になればと考えています。高田短大でも実施している子育て支援が、母親の憩いの場になって、悩んでいる母親同士で話し合ったり、指導者の話を聞いたりして楽しいひと時を過ごしている事が大切であることを感じました。

色々と話し合ううちに、短大を卒業したら終わりではなく、学んだことを実践し、職業として社会の中で生活することによって、高田短大の良さが、伝わっていくことだから、卒業生として重大だと感じました。



